





源氏君十七年の交情よりなり此時官八中納之但一中納り此を
 乃りするハ相産と此言ふもさうしきく語抄ハ此を十六年と
 ありれりは語なりそをく源氏君の齡々相産是ハ十二といふ
 より後藤原朝是ハ三十九なりそをくその阿比たふをさく
 くとを伊りたりと明るれを此を十六年とせり然るも多か
 存未定是より逆りかそく定めりるもの然るを語抄の説を百
 小一年の遠ひりる所ハ此を十七年こそその一年よりなりハ
 か川らの是の所ハ伊りてハ三巻九下

のりくサ得 大和物語ニ季繩少将ノカスメ右近政キサイノ官ニサケラヒケニ以テ見ニ季繩
少将ハ大系図作者部類ホ藤原真始ノ末子ニ業平ノ子ニ交野少将ト号トナリ
則此人ノ事ヲ書物語ノ其以ニテハ残りケシシテ浩クホ物語ニ此交野ノ少将ノイヤリ好
色ノ人ノヨシニ書ルナシ

成ノキリ給(ル)故今ノ浅官ヲサシテハダト云ナリ 中將ハ職原也
ヨリ後ノ巻ニアルト氏ヲサシテイハルコトヨリ前相壺卷ニハ未タ

コロノハアラスイヒケタシ玉フトガノ多キトイフモカ、んスキブト、云フモ比目コシ

ヨリ後ノ巻ニアルト氏ヲサシテイハルコトヨリ前相壺卷ニハ未タ

サレトイハルコトヨリ前相壺卷ニハ未タ

ハシノカクロフヲシテ五フ時ニミツカラ

オホセン心ヲ云語ナシハナリカ、んワレニ多クハ、んクマニシテ

イフミテハ、んノ時ニ源氏君ノミツカラ

オボセン心ヲイハルナリ

タハシタル人ノ見テロラカ、んノ心ヨリ

カ、んノ心ヨリナシトハアラス、んハ

タハシタル人ノ見テロラカ、んノ心ヨリ

カ、んノ心ヨリナシトハアラス、んハ

タハシタル人ノ見テロラカ、んノ心ヨリ

カ、んノ心ヨリナシトハアラス、んハ

タハシタル人ノ見テロラカ、んノ心ヨリ

カ、んノ心ヨリナシトハアラス、んハ

タハシタル人ノ見テロラカ、んノ心ヨリ

カ、んノ心ヨリナシトハアラス、んハ

タハシタル人ノ見テロラカ、んノ心ヨリ

カ、んノ心ヨリナシトハアラス、んハ

タハシタル人ノ見テロラカ、んノ心ヨリ

カ、んノ心ヨリナシトハアラス、んハ

タハシタル人ノ見テロラカ、んノ心ヨリ

カ、んノ心ヨリナシトハアラス、んハ

タハシタル人ノ見テロラカ、んノ心ヨリ

カ、んノ心ヨリナシトハアラス、んハ

タハシタル人ノ見テロラカ、んノ心ヨリ

カ、んノ心ヨリナシトハアラス、んハ

イ（ルナリ）ゆふ中物あふ物一強ひ一ゆき上ノ発語スヘテノ語ヲ受テ
 其始ツカタヨリノドモヲコシヨリ語リハムルナリトイフモ始メ（立カ）リ
 テイフ故ナリナドモモハシメツカタシロクイ（ル）ナリ至ヒシノモシハスベテ
 昔有シテヲ語ルヨシナレハナリ然レ此過去ノシテ疑ヒタレハイカ
 うちおれまゝなうゆふトモあはれコレノ文中物ナトテ物シヒシコロノサマシ
 ロクイ（ルナリ）此卷ノ時ノコトニハカギラズ
カヤリ人ノ疑ヒ思ヒシカトモ先君ノ御心ハナヒキヤスノ好色ノ世ハ心ハ苗メ給
 フコトハナキ御本上トナリ
ナルハ然レニシキ也故ニレニハイト思ヒノ外ノコトヲシタニフクセノオハシメス此御本上
 ノアヤニナルトナリ是夜と五ノ視天皇ノ御落ナレ通シ空幣ハ伴ノ介事ナ
 ルゆふ心トシ又幣月夜ノ君通シテ身ノワサハヒサ（引出タニ）イトテ早クノ愛ニ云タレ茶法
 正モシク志サレハコレナリウウぬハ本上アて
 まれよハあるがらよひきたたぐんを法くくわゆるこ
 とを思ひあがりしむらさせるんあやみに
 てさるゆふはあまひもうちまどまけるか

内のゆふみ林の中ノ御物忌ナリゆイミトハ慙カミシキアトアル時ハ物忌ト云字ヲ書テヌダレナドニ
 付ニアリキヤドモセテツシムナリ
物忌ハ鬼神ノ名也
 五月ノ霖
 かののつめとねまかりさころん。大うちね法物

上ニ内ニミサフラヒヨウシ給ヒテトアルヲ此ホトハ
 御物忌ノサレウキテイヨク内ニ長居シ玉コ
スベテイトト云詞ハミナ此意ヲモテ見シ
 中白ク外クスベテオホワカナク又コロモトナク
 イフ言ハ待遠ナル意ニ多クイ（ル）ニモ源氏君
 又シクキタハヌヲキドホニオホセナリ
 おおとの葵ノ上ノ御父ハヒダリノオホイマウチ
 ギミナレ故ニソノオホイマウチ御忌各申
 うれくうのめくおひくねど。源氏君ノより
 りいあまをを。おわいのよハ。源氏君未給タ。たほり
ヒサシクオハシマス
 いみきつぎき。源氏君大内ニミ。いひたがおまむ

けれぬよそひ。なまれとめつ。ねはあ
 てりい。くたすひつ。ニキラセ給フ左大臣殿。出むまこ
 の君さ。た。あ。の。源氏君。ゆ。この。い。は。乃。み。や
林の中ニテ
 源氏君
 オハスルトコロナリ

古く御殿油ト書タリ

こゝろをいふも。つまじくおきりくつて

志めやかなれよひのあなふ。殿上もまじり

人モイストくぬ。源氏君の流その心もまじり

乃シカトルトイフコトやく形もつちよるた。ゆほくあがりち

かくておみごとと。源氏君取中將上も。みたすつ

いづよッバ。ちりきみづーなるいろくのかこな

はふ艶書こともをひきいで。中將より行くゆか

いづよッバ。源氏ノノタニフ。さうりぬきすう

古くは拾遺記にけりし鳥の片羽
よりかきんと書也。伝代録に。はつこ見

はみせん。中ハ。かきんたるきもこそ。アラメとゆ

平たまる。頭中將イハリ。そのうちとけそが

ちりたりとおがさまん。こそゆうけ

れ。おあねづるたわくのハがばなぬと

オノほむらにつけそ。かきりり

つよみせむぞなん。おのぐあけうら

おのぐあけうら

面トシレクニトイフ意

ありはなりんを...
ソノコトヲカスメタシイフ
五葉十一の...
夕の...
ゆ...
又ハトリ...

みづー...
三トアリ
おほふ...
フレト意...
シ例ノ...
書ナレ...
ツカヒ...
是れ二...
所三...
若...
友...
タニ...

あ...
シ...

待親ナレ文コフトイフ意...
人志シキ
の文...
見セ給...

せち...
御厨子
お...
御厨子

かめ...
かめ...

あんな...

か...
見...
コト...

見セ給フ
中將...

こ...
ま...

又中ニハ
あ...

せ...
源氏君
お...

あ...
あ...

びおのこ。人ツテテ聞合 サヤウニハアラシク 志あわらしと。

彼婦ノ詞ヲラフコトハウラニ推量シカケキトシ 母ニシハおのこヨリツキル バ下ス也 所 府内スニハ ありおひきさん アルハカラ

ヲ我ツトシフヒタムシ あことか とみゆゆく

細キカナフヤウキムコトハナケシハトニカクニ世ニ可然女ハナキ にみおろさぬやうハ 孟敷キタルトイフ如 ねんあまき

トテウキタルナリ 以中身ヲラノ先アルヨリテ 我妻ニテ 源氏君ノ身ニ ながけぬを

こ 源氏ノ先ユ ねんあまき 源氏ノ先ユ ねんあまき

思へし 源氏ノ先ユ ねんあまき 源氏ノ先ユ ねんあまき

和うけぬ中將ノ身ノ上ニカヤウ
媒空言ニスカサシタリシコトアルヲカ
ク源氏ニ語りタヘルナシハ何ト十
言ニナカラ恥スルナルニト云ル此
心ナルニシツハ引ワキテ下ニイト十
ヘテハアラヌト我モオホシアハスル
コトヤアラシウナア、エニシトナトナ
思へし

名ミシ愛ミシトイヘルハ名ハリ候ハ彼等
恵愛ハ延テ別ナシヤ

そのわいぐも似き人をも上ニタカカドモ
ツツタテトイヒヒトツエツケテナドイヘルハ
カタカドア人ナシラシバカリノ能モナキ

女ニ世ニア人ニキヤトヒタフナリノ傍に
ア人ニキカハトイヘルハタカヘリサテハ次子侍

ノ詞ニカナハズ
さしとるはゆん ゆん けしおをスコレ

トリ所ア人ヨク媒モツクロヒ我
モスカサシヨリ侍ラメサヤウニ向
ニトナル人ニ誰カハスカサシヨ

ラントナリ
人ノ品守ノミモアラスガ執術賢

愚何ニヨラス此アケラヒノコトキナリ
論語典上智典下愚稀也

合 源氏ノ先ユ あまき 源氏ノ先ユ ねんあまき

み 源氏ノ先ユ ねんあまき 源氏ノ先ユ ねんあまき

ん 源氏ノ先ユ やとの 源氏ノ先ユ ねんあまき

な 源氏ノ先ユ んあ 源氏ノ先ユ ねんあまき

き 源氏ノ先ユ んあ 源氏ノ先ユ ねんあまき

き 源氏ノ先ユ んあ 源氏ノ先ユ ねんあまき

き 源氏ノ先ユ んあ 源氏ノ先ユ ねんあまき

至テ下品ト至テ上品トハカズ少キ也サレ
ハ見ユキトナリ

優 ホメタル詞 ありとおぼゆ

トモニ世ニ

人を取らばよく 孟是より 上中下の三
品を合てゆくも 新中ふまり
種姓なるも 上の品の人を以て

是ヨリ上中下ノ三ノ品ヲ合テフトワラハ
中ノ先上ノ品ヨリニナリ

こゝに こそ侍らぬ人の志れたうくうすま

ぬれづくまわてかづきま 陰
大切アガムラハホドノコト アニキコトモ

家あもねんくも 志持ん子そのけはひこ
景氣

よあうるべし 中の志持おなんの心ぐ
空帰新瑞秋ニ女有サマニテ明ラカ

おのろたれたくも おびきとみえく

コウ家(き)うとかさぐ おろくも(た)志

も乃きあこといふまはよあれはうた
下階ニ下

見シ好里云おんり(ギトアル)若
ノハおんり(志)バトアリケハカ

耳モタ、ネバ取上ルコトナクスカサレヨラニヤウモナシト念ナリ
みくまばり

隠スコナク打アケタル

みくたむがーとくも ねげひある

ゆりく 源氏ノ君ノ心

てその志れくやいりよいづまを 上中ノ三

乃志持よおれたうりくべき 源氏ノ君ノ心

くくゆめれるがう 官位ヒキタス

くてくげなれトす 節目カキタ人タシ最進ニテ
上等部

あめなるとおえなりのがりたる 是れハおは

カ拱家大臣家清華ナトノ家ニ
生シ時ハ時ノキタ人モカヒ家オ
ト只身ハ浅官ナトニアル人多シ
トト家スナヒテ外氏ト混ヌキニ
ラス是ヲハイツレノ居カクキトノ
也

又あふ人の直人ニテタノ人ト志也

是ハ諸太夫已下ヲサシテナリ
上達部ハ公卿已上ヲ諸太夫已上

勤勞ヲテカヒスニ細言ニ相モ
ナリノアリタル是ハ當時ハ花ヤリテ
家ノ住居其外ニテモ美レイナル

モノナリノサレトモ元諸大夫ナトニテ家スナハカトリタスハイカ、是ラハ上ノ品トテキカ又前
モトノクラ年高キ方ト人高卑ハ
何レナリヤトヒメマフナリ

事ナリ 命目ト云言ノ上各ニテ
物ノ差別ナリ

左馬頭職原抄
藤式部丞 藤氏ノ人ノ式ア丞

ナリノ式ア丞ハ人故性ヲヨヒテ
別テムナリ

物ノくひとゆれも原クニカナン
トコロニテヨクユキトナリテラニ

ワキニハサタメアラフスベテサダムトハ
物語ニテ人物ヲ論ズルヨシナリ

俗言ニカクニ決定スルヲノミイフハ
異ナリ

キニクキ一世ノ女ノヨキアシキヲ
巨ニ當時ノ人ノウサイフエトイ
ルハカヘリ

下ニラフサニノ一先早ク聞ニキク一多シト判リ
オキタル文意也又イト聞悉キ一多シト方ニサ
ハナシノアリニシテコメテ其後此定ヲ馬頭ノ性
出タルヤウニモ聞ユ

細尾馬頭ノ一前ノ三不サ評スルニ
惟先カムヌメ後内儀ノスケナトニ
アタレリ
花巻ヨリ十八回谷身一版三訓
記ことおわくり。馬以ガイナク
ありのびまごも。

人乃おもへるころも 世ニレテウノモアガメ

いとなほモトヨリスナメアルト人ノ思入 ことおわり。

官位各キ筋目ナシ
細尾編ニタレリ
さしりくたやんごくたさよちなられど。落フ

世ふる原たづよましくなりど此世うつ

カハリテニ
ろひくソノオノ 世ぞえおとろへぬまバ。

おわり。そのまじらめをバいろわく花と 源氏ノ

君中納言 最中ニ此二人ハ源氏ノ御トキニモリタナ
とひあはほとあたのる乃かみ。後 諸大夫ニ

下ノ人々ニハ高家タヨリ奉ルニ其引立ニテ身ヲ立也惟先良清
或放のせう。此ののみりあつんとてよ 此身ヲ檢

おわり。此二人ハ 世のまじらめをバいろわく花と 源氏ノ

おひとゆれも原中將おもらりて。おのち乳

記ことおわくり。馬以ガイナク ありのびまごも。

いふなりきりて コロハ昔ヨカリし時ノムニテイヤシブレタルトナケド何ぞモタラハスバ
何物も度ニまがたくもあらずなりきり
すのきと地のみはあはれなり
いふをよき書しりともん也
ともまいてくる目出なるあしが。ヨキ人ノオキ

とむしくあつしくいひて コロハナリノオシハ
シトモトハヤムトナキニシトウツしく
コトワリテハニサマニイヒコトワリ
ニトイハハタカヘリトリニハサマ
意ハアラヌ
ブレタルトコロキ人ノナリオリタルハイツレテ
又取テアラテラ取テニナケル下方意也
ぐにらりてトニ中の方意をおく

國字ハ職原抄

受領トハ諸國字ナリ
都ノ外ノ他國ノ政事ヲト
べた。いふやうにいひく人のくまのこは

り行ヒテ
かづひいりみる。國字ハ京官ヨリイヤシク位モ定リ
たん切ナレバ定リ候ナリ。長ノ有テ
中 亦もあすきいりて。中の方意アリテ
又 カラトノヨキニアリ時代ノ受エヨシキモアリテ
サマシト是ラハヨキニ大方中ノ品ノ人ナリハ其ノ中ノ
随分ヨシキ家ノ女エリ出ツキハナリトナリハケレトカ

あるなりきりて 注ニ受
領ノ品ニ定リナリト云ルハタガヘリ其
意ハアラヌコト地下ノ官人ニ大臣
大中納言ハラ七更也大カテカ
千ニモナリガタキ身ノ品ナルヲ
ハスサマニル身トハイハナリ

けしうのあしぬ けハ男ニテアヤシカラヌナリ候
サテツカフトコロハ必ニモ後ノするハカギラス物ノサシモアシカラヌヲケシウハアラヌトイフナリ
コトモ然ナリ
乃 乃ハコシモエりてぬ
アヤシカラヌ
乃 乃ハコシモエりてぬ

少のやひゆり 當時ノサマシ
又ホド、有意ニテ文領ノ合際リサ
ニテイハゴトクモ申スドトヨリノ
語ノハゴシヲ四フニホ然ハアラシ
乃 乃ハコシモエりてぬ

名郷トイフコトニ名郷トイフガリ
ニテ世ノオホエモ何モ名郷ノヤウモアラ
又ライフ五ヤ挿五卷三ノ聲ヲ見
非スニ後ノ三四位ノものゆるはを後
位ノ人ごを何ノ帯もを位を以て
三位ト云ふも名郷ト云ふも位名
官ノ物々を後以上を名郷ト云ふも

位ノ人ごを何ノ帯もを位を以て
三位ト云ふも名郷ト云ふも位名
別解アリ
乃 乃ハコシモエりてぬ

位ノ人ごを何ノ帯もを位を以て
三位ト云ふも名郷ト云ふも位名
別解アリ

位ノ人ごを何ノ帯もを位を以て
三位ト云ふも名郷ト云ふも位名
別解アリ

意ナリ

位ノ人ごを何ノ帯もを位を以て
三位ト云ふも名郷ト云ふも位名
別解アリ

路ひをもち 知るし 表紙 布ひ
三巻 巻一とて それより 巻二 巻三
よき 巻二 巻三 巻四 巻五 巻六
位とある 巻二 巻三 巻四 巻五
位とある 巻二 巻三 巻四 巻五

省略セズ 心の限り美ヲツクス也
ナニトモモ 心づからむをたゆまざる

イトタナテ思ヒカケ又幸止是ナリ 桐壺ノ更衣ニアタル云ハ 當ラス桐壺ノ更衣ハ大納言ム
ヌメニテ身カラ高シ大納言女 ぬがさく ねひゆるを あまき あり

腹ニ出生ノ皇子御位ニ付タル 大納言ノ更衣ニシテ 明石上ノ更衣ニシテ 明石上ノ更衣ニシテ 官仕ニ

例多シ 三三ノ段ノ女ノトモシ種ノ云ニ サヤウモテカシケルムスメ 文部ノ下ノカニシテ 文部ノ下ノカニシテ 文部ノ下ノカニシテ

トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ
トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ
トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ

トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ
トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ
トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ

トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ
トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ
トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ

トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ
トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ
トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ

トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ
トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ
トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ

トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ
トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ
トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ

トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ
トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ
トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ

トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ
トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ
トテノ下カニナル此文ニテナリ不ノトセニハイカニ心得タルニカアラシトイフカシキ見サナリ又ウチ

くらひひてまぐれさうんも此ウナアヒテハそ女ノオホドニアヒカチヒテ何事モスグシタルライフ
上ノウナアヒトハサストコロ異ナリナリヤ
ヨキ人ノムスメハ何事モ
コレモトノエトキヨノオホエミ
ソロヒテ

女ノコトノ別ニ種ニハアラズ巨カヘリ
サテ又オホイハ條ハ或ハモトノエチハ
ヨケシ尼時代ノオホエナリ或ハトキヨノ
んもこころりこれハ
ヨカヌ人ノカスクシタラニコリメツラニカラメ
さうハ勿論

オホエハアシ尺モトノエナワロキナドナ
イトモオトロクニシキトナリ是ノ庭ハ友ニ當シリ
イハルコトハトモニウチアヒテヨキヤ
べんこおわえくめづるかたうさうさ
イハルコトモオホノ一種ノカ
見入もおぼろくす
トキガ
マ

ナリノモトノトイフニツクシシヤムゴキ
トイフモトノオトトキヨノオホエトウチ
アヒタ人ライフナリトガ上ノヨシハアラズ
サシバコレヲ女ニ當ニ當シリノ庭ニ
アタシリヤドイハハカナハズ
カハハうらおまをうらぬ
世子
花鳥ニシテ下ノ人ノオホイ
アリコト
モミナ
不ウチ

多ヨクハガスベテミツカラノコトヲ人ニカ
ヒテカクニガシトイハハハヲ時実ニ
ガシトイハハハエラズ
上ガカみくうらおまをうらぬ
終リニテスベテ
シテ定メハ始メヨリ終リニテスベテ
比皆モハラ中ノ女ノイハサテコノ語ハ上ノ件ナリナリノオホドモトヨリミナトイフヨリ次ノ

コハテノ條ニウケケニノイハハニ又コレヨリ下ノ庭ニシハリマデハモオウカラワタル語ナリサレバ
此語ヲモテ此所定ハミナ中ノオホノイハニテ上ガ上ト下ガ下トハツカラザルコトヲシハシテ中ノ將ノ討ニハ
シテオウウマシヌレバ中ノオホニミナ下ノキガミトイフキハニナレバ此語ノヤウク思フモハラ中ノ
所ヲ論スキ下ガハニミナモナリカクテ
中ノオホノイハニウケケニオウカラセト
下トノコトバモモモリテ有ハニサテ又
上ノ件ナリナリノオホシ尺ニ條ヨリモ
レノエトキヨノオホエミマデノ條ニ女ノ
身ノ所ノ庭ニシムネトイヒコレヨリ下ノ
條ハハオホノ心オキテフムニヒノエトキ
イヒテコレヨリ上トコレヨリ下トハ所定
ノ庭ニシムネトイヒコレヨリ下ノ
コトヲツケテオウカラセハ
ガリ見ニハ作リ又ニハバカリ心
ヲイハレタハオホノ心オキテフムニヒノエトキ

父ノ年光老見ハ式アヲアテ付テ
云ルナリ親ヲワロクイヒ兄ヲ悪サミ
イヒコスリテサテ其妹ヲオホナトス
ルニタシキ人ノハハハニハ常アルコト也
コノツキハ親モ兄モヨカラヌ女ノ
イト思ヒノオホニ思ヒアカリテハカ

此段ハ多ク當シリ是ラノコトヨリ君ノ下ニモ見所アル人ノアルモト
あやしくんを家で見出さる。又女ノちか思ヨリ給
ハヨリタ
顔ヤトナ
モトメタ
ルナリ

式部ガオホアアハハニトイハハハカコト
のとおいりのむつりげまやうまぎ
ハサクサトハサカ
オシハカニユカシキ
おのひやり

せうこのかやまらげま。外ヨリハ
おのひやり

女兄

おのひやり

おのひやり

おのひやり

おのひやり

おのひやり

ナクニイッルコトモツキナララスミユル
ハ別ラ心ノトモトナリ前辰ニアセタ
ラシククラノ門ニ思ヒノホカニラウタテ
ナル人ノトナラシタラニコソカキリナリ
メツラシクナリ伊勢物語ニオモホエス
古サトニカクテアリケレハコトナリ
トトヒニケリト云々トナリ

アモナキ
こと物りことるき、祢やけうらよ、女ハ

たうことと、世を、トルベキモノナル、ゆ急なる、ぐみえ
手カキ袷ヒキリヨムナド
と、く、ねひあがりたる、あくる、く、いづく

う、ん、を、ナ、か、ご、う、と、も、く、ぬ、い、の、ね、ひ
の、ゆ、を、う、か、さ、う、ん。ナニトモウキソレ
ト

く、れ、く、き、だ、あ、き、お、の、ち、ら、び、よ、あ、そ

ノノコトキハ
ね、の、ざ、う、め、さ、あ、く、よ、く、は、て

かの、か、く、や、く、も、タ、ト、ヒ、ワ、ツ、カ、ニ、ツ、ツ、カ、ド、ア、レ、
ニ、モ、ト、イ、フ、ナ、リ、細、流、ニ、カ、マ、ウ、ク、中、ニ、モ、ト、リ、所、
ア、ン、キ、幾、こ、ト、ア、ル、ハ、カ、十、八、

さ、ら、か、く、あ、く、中、ノ、お、ニ、ト、リ、ニ、ハ、ト、イ、フ、意、
ス、グ、シ、テ、キ、ズ、ナ、キ、ミ、ト、イ、フ、ヨ、リ、ツ、ツ、キ、タ、ン、ラ、
モ、ラ、サ、ト、人、ニ、シ、

とて、く、れ、もの、を、バ、と、ク、おも、ト、ハ、や、を、落、れ、る、終、意、を、サ、ク、ハ、サ、ク、バ、あ、み、ぬ、を、を、の、ち、お、け、ゆ、え、り、出、
あ、さ、し、の、こ、と、ゆ、く、約、を、加、つ、く、ん、ゆ、さ、せ、し、れ、ど、も、も、意、や、う、け、く、バ、初、め、み、く、ゆ、り、

が、く、ね、色、の、を、ヤ、バ、エ、リ、お、ベ、キ、モ、ナ、リ、と、と、式、社、を

み、や、れ、バ、式部ハ、我、い、む、う、と、さ、い、もの、の、お、ろ、く、起、き

こ、え、あ、る、お、か、ひ、い、く。馬頭カクハ、の、た、あ、ふ、ま、や、と

ヤ、ハ、ん、う、ら、ん、物、も、い、む、い、く、イヤモリ、や、お、の、ち、お、け、と
葵上ヲサス

お、ろ、く、い、か、う、心ニカテ、お、ろ、く、カキ、此をハセ、
源氏、下ニ、若、タ、ニ、ハ、ん、服、由、身、ニ、ナ、シ、ヤ、ハ、カ、ナ、ル、
お、ろ、く、い、か、う、世を、お、ろ、く、君ハお、

直衣、直衣ノ、式、日ニモ著セト
お、ろ、く、い、か、う、源氏ノ、意、
下ニ、若、タ、ニ、ハ、ん、服、由、身、ニ、ナ、シ、ヤ、ハ、カ、ナ、ル、
お、ろ、く、い、か、う、直衣

直衣内ノ、装束、
お、ろ、く、い、か、う、直衣

い、ざ、や、俗言ニ、イ、マ、モ、ウ、ト、イ、フ、コ、ノ、ケ、タ、シ、リ、
此、詞、イ、ツ、シ、モ、リ、意、也、又、別、解、ア、リ、
お、ろ、く、い、か、う、古註ニ、葵上ノ
下ニ、若、タ、ニ、ハ、ん、服、由、身、ニ、ナ、シ、ヤ、ハ、カ、ナ、ル、
お、ろ、く、い、か、う、源氏ノ、思、
ハ、ル、ナ、リ、ト、云、也、
お、ろ、く、い、か、う、女ヲイ、テ、ヨ、サ、

ト、ア、ル、モ、ヤ、ハ、カ、ナ、ル、コ、ト、也、
直、衣、と、り、直衣、式、日ニモ著セト
実、ハ、禮、服、ニ、ハ、ア、ラ、ス、禮、服、ハ、袍、袖、
袂、袖、お、ろ、く、直衣、古註ニ、直衣

ニ下カサネノ也トモイヒ又サシヌキヲ舟サ
ルナリトモエト云クハト云クハト云クハト云クハ
サシヌキモ下カサネモナリクハ直衣ハあひそ
カリ著タタナリト云クハ直衣ハあひそ
シタヒヒトモナリトモウナステト有カリ
ヲ思フヘシ

カサネモ、サ、又ナリ
ひそあるはほろげびとめくく女
燈火ニテ見ユル

もみまもるまの 君ノ此あるはが

ミグカミをえり出さるるあくまうみ
アキタルニ見ユル

え路のさあぐ乃人のうごも城馬頭 かの

りあはせつ。ナホイニハ 大テイ世上公キノ心ニ敵相ナラデ
おなるのせりつ

見ルニハ 維モナキヤナルモ
もみみるよ おれまも日ぐまのとうち

おのこの世おつまで湖月ニ傳説トテ出セル
はゴニハカハスイタツラゴトナリケツ人ニ此辰
弟ノ世ニワタリテハゴトニナルコト
此大方ハ廣キ世中ノ女ヲ大ヨリ見ル
時ハミナソシクニ維モナキヤナルモ
カメキモノナリト云ナリ

吾モノトエラハニハ多カル中ニ定メカヌト也故ヨキハ

たのむべきをえらばん。女ノおなる中

にもえたるたのむべき 吾モノトエラハニハ多カル中ニ定メカヌト也故ヨキハ

をのころおなやけ 公ニシ

世のおのむべき 坊政用白ライリ

をのむべき 其人ト定ムキ量ノ人ニテモト

べーう 其人ト定ムキ量ノ人ニテモト

とらやう バカリニテ世中をすつりこらある

おのこのおなやけ 此段ハ一家ヲ
夫婦ニテ納ル心ヲ廣ク朝廷ノ
政ニヨソヘテトケリ

か 其人ニテモトイフ

さしあがりかきき修るる... 上は向方の中おもえ修んぬい
定じ修りありきとつとつてけけ修り修り修り
さしあがりかきき修るる... 修るる... 修るる...
さしあがりかきき修るる... 修るる... 修るる...

先契リヨリ少し心ニ叶ハヌ女モ堪忍シテ
メモツトキハ男モ実アムト見ユ又女モ一生難クモツカスニ志トナリ是詞実ニ然リカクセハ女モ世間ハ能
心故ト思フ(一) されくあるあふにカシトモ
世中ノ女子見アツクニ数ナラヌ我ラニテモ心
及ハヌユカシト思フ女ニナキモノ也マシテ君
タナノ内エラヒニアフ女ハイカハカリカヨカラ
テハカナハネハタクヒ給ホトノ女ハカタ
ニト也

さしあがりかきき修るる... 修るる... 修るる...
さしあがりかきき修るる... 修るる... 修るる...
さしあがりかきき修るる... 修るる... 修るる...

俗意ナリ
カマトワラ申ラ見シム時ハ三ト辰シタムハ
詞ノ弊ヒニタカリ又タミ詞ニ何カヲ何ヤ
ユカシカラシ心ニ開月師説ハ何カトイヘム
オシハカラシトイヘムトモサヤウノタガヒモトモカハ
ルニテメリナイヘリ信カハ何カハ(一) 心ニ
レニテ女ノタメニモヨロシキ
モタラハハ女モヨキユエテオシハカラシム
らゝりくに修り修るる... 修るる... 修るる...

心ニ及ぶ及 及びナキヤリと思ハム人ナリイフにコレヲト思ヒ及ブトモアラストイヘハカナハス

とあきき (ト思フ礼) こともたりや君を逢れか

所も... ぬすみ... ぬすみ... ぬすみ...
向ラ却テ心ヲ止ヘカケテ見ムトアムガ如シ
衣ラガ後キオノダニ然思ヒ侍ラテシテ君
タナノカミナキ御エラヒニハトイフニタミ詞ニ
アミネリ女ヲ見アツムンダニトイヘハカガ人ナリ
ハツクハ所セク名ハタラシク見アツムン意
ニトイフナイヘナシト丹意ハアラステ
トコロセシトイフ詞ハ言ノ中ノ意ハ所ノ
後キ意ヨリ由タムナシト用フ人意ハ必シ
モシカラズコハモ人ハ身ノ意ニシクニテカ

馬頭等カ
かさきき... げなり... げなり...
たあ(ぬ) ダミコトバ此所カガヘリト...
おのが... はち... つか... つか...
おんが... ナミヨリスルカラ...
ツケシトテ... カリカヘリ又日
ニツヒトテ... 日ニシテ例ナリ
訓通路上
三十九ウ

ノヲタマスカラヌヲトコロセシト常ニイフ
其意ニテ妻ヲエラヒタマフコモモ人ハ何
クレトムツカシクシテタマスカラヌツイフ
我ラカゴトキ下ガメノ人ハサヤウニツムツ
カシクハアラガムヲツレダニトイフ意ナ
イ(一)ナリ

形... ぬすみ... ぬすみ... ぬすみ...
ぬすみ... ぬすみ... ぬすみ...
ぬすみ... ぬすみ... ぬすみ...

おくり地味もくわゆるかゝりても物ノアハレシリスラシヤウナル風流ノ方ハ夫ノウシロソノカニハナクテ
 モヨルキカ如ナレトシ物ノアハレシリ
 又トハ如ノアハレシルヨシノツルニエシ
 くてもよおづとみえたるよ。
 実跡ナル節

又ゆえく〜又トイフ詞下ニイカバハクナラサシトイハル
 又イカハロヨニカラサラントツクケテ見
 又ヤササアめ
 アラズノ意

シイフ
 又ゆえく〜又トイフ詞下ニイカバハクナラサシトイハル
 又ヤササアめ
 アラズノ意

みくもさみぐりに古ノ女ハ皆髪ヲ巻カシ額
 髪トテ丸ヲ耳ヨリ前（モタル、コトナルシカタ）みくもさみぐらふ
 びさうあはれ（カ）
 伊フ（イフ）童子ノヨシハ
 アラズ家々亭子ト

ルサクムツカシク思ヒテ耳ノウレ台（カイコ）のびとようちをけする。男ノうらむらむ
 ニテ耳ニハサムシイフ或物語ニワカケ
 レドスコシモバギラヒタルコトナクミハサミ
 フレテテラ（イ）此物語録号ニ正三位
 アレハ名ハウケガタシ

髪ノ髪友ヲ耳ニサケ也女ハケシク立
 走ルサニテ下品ナリ
 表向イ 内證ノ

朝夕の出入りつけくも。おんやけし
 朝夕の出入りつけくも。おんやけし

おんやけし
 朝夕の出入りつけくも。おんやけし

朝夕の出入りつけくも。おんやけし

朝夕の出入りつけくも。おんやけし

朝夕の出入りつけくも。おんやけし

朝夕の出入りつけくも。おんやけし

朝夕の出入りつけくも。おんやけし

朝夕の出入りつけくも。おんやけし

朝夕の出入りつけくも。おんやけし

朝夕の出入りつけくも。おんやけし

朝夕の出入りつけくも。おんやけし

おくり地味もくわゆるかきくても物ノアハレシリスグシマニヤウナハ風流ノ方ハ夫ノウシロシノカニハナクテ
モヨカンキカ如ナレトハ切ノアハレシリ
五シトハ切ノアハレシリシヨシノフムセス
くてもよかるーとみえたるよ。

シイフ

又ゆえくー見多くとトイフ詞下ニイカバハクキヲシカラサラシトイカヤ
ヘカケテ見ニ風流ナル方ハナクテモヨカンシト見エタレドモ又サヤウモアラズノ意ニソノヨシライヒツクルナリ
此ニ又トイフ詞ヲアシク心得テコレヨリ又
一棒トセルハ誤ナリ

其書

Handwritten notes in cursive script, likely a transcription or commentary on the main text.

かゝるものもやと 右ナリ 下ナドモ詞タラスコハ上ノ古九丁ニメタサヤカニモ見テシガサト

水も又ヘナクハタセ 又次ノ古十五丁ニ黒キガキニ

エラバシテ次ニ おきまきまのよ サラニ

オトリニサルケギ人フトシモ見エワカ

シズナドノ類ニテ省ん也 傷ニ脱セニバアラズナ此條ヨリ八行ノ間イカクシカラヌトエマデ何しノ

注ニテモ行トカス又ヒカ説モ多クノ 男ノめもみくもさるありさる

文ノツミキモキートリカタキサナリ

ケレハクハ(書)シテ見(シ)

きくは地味ひちるへうんハツミシクカタラヌ

物アハレシリテカヤウノハゴロヲモツウケちくくてみん人乃きく見れおひちる

テ分別アラシ語マオシト

ちりるるゆれカタリテカセナキ妻ノコキナ

キナキコトヲ思ヒテトリノワラヒセセラシ又

イフカセナキコトヲ思ヒテナミダモサシグム

傍注タガリ

おやや 又イフカセヒ

又人ノウイヲカタハラヨリ見ツテハラタ

シク必フコトニハオホヤケハ俗ノイヤシキ言

ニオニアツカラ又人ノウノ 又イフカセヒ

実録十ん筋

又 イカバハロラシカラサラシトイカヤ

サヤウモアラズノ意

ソノヨシライヒツクルナリ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

又イフカセヒ

リシキト云法界ノ意ニアレリアヤキハ衣
オニツカラヌヲ腹ダツラモナイ(ルナリ)
ハハ梅ニ巻ニハツ例ヲ引テイハシメリ
見ルニ

あふこをぬぐ 夫ノソノサマヲ妻ノ見テ
ソハ何ヲゾゾドイヒテハ

あふこをぬぐ海ニ流シキト有り 俗イフ
シヤカナヌナリサシアフキ平ハツナ解キ
産ルニアハツカナンサマナクイフナリ

あふこ出アツハ有シテウラハナシ思ヒ出シテ
ワロフナイフコハ心ニシテアハシテウラハナシ
フキコナヌ出シテハワラヒモスルニシテア
ハナハハスレモウキコナシキコナドハカギ
ラダヤシキコナシキコナドニシテモ心ニア
テ人ニカタラズオシキコナハル

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
必ヒアハル子大ノ申ニアハシト歎息スベキ
コナドモヒテハ歎息スルニサテ人ニシテ
イヒヒトリゴタルトイハル皆妻ヲ語リテ
モカヒナカレキガ故

いばくちをぬぐあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

コレハオヤケケラタニシトハ部子ツツケニノコロウヘカラス
サテナニカハラニハニツラ合セテイフ
さういふ心はひんまのあやうきなごおん
おん

うらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

あふこぬぐうらぬりあふこぬぐにコレハ
コレニテツツキナリ

いひやうをせしにそ女志ぞんじさ乃。

あはれをいふもよきおほえぶななくはだひ
ハカキキ一三 實十九一三

とあひうるこころあはれなり
イフ意

人はいとくらをいふのりげある
トイフ意

告 ヤハリ 俗ニシギル物テアツトシ 花散里類
おん つね

何ゾノ時ニ
女乃をり

出栄し 何ゾノ時ニ アツトシ
おん つね

カノヒサウナキニシテス イハル ハ
ナホトイハハコナキヤハカナルヨケレドモツシモナホテヤハリマダノ意ニ拾遺ニ辨(タルガゴトシクニシ
カラハ俗言ニシギル物ニテアラフコトナリ

そバノくあくタミ内ヨソクシクシタカラヌトイハルヨロシコハ甲ノロニガクシク心ツキナクアツコトナリ
ヨリハタケモエゲナキトガハ根ルカラン そバノ くは つぎ あき さ 女 乃 を り

カノヒサウナキニシテス イハル ハ
ナホトイハハコナキヤハカナルヨケレドモツシモナホテヤハリマダノ意ニ拾遺ニ辨(タルガゴトシクニシ
カラハ俗言ニシギル物ニテアラフコトナリ

カノヒサウナキニシテス イハル ハ
ナホトイハハコナキヤハカナルヨケレドモツシモナホテヤハリマダノ意ニ拾遺ニ辨(タルガゴトシクニシ
カラハ俗言ニシギル物ニテアラフコトナリ

カノヒサウナキニシテス イハル ハ
ナホトイハハコナキヤハカナルヨケレドモツシモナホテヤハリマダノ意ニ拾遺ニ辨(タルガゴトシクニシ
カラハ俗言ニシギル物ニテアラフコトナリ

カノヒサウナキニシテス イハル ハ
ナホトイハハコナキヤハカナルヨケレドモツシモナホテヤハリマダノ意ニ拾遺ニ辨(タルガゴトシクニシ
カラハ俗言ニシギル物ニテアラフコトナリ

カノヒサウナキニシテス イハル ハ
ナホトイハハコナキヤハカナルヨケレドモツシモナホテヤハリマダノ意ニ拾遺ニ辨(タルガゴトシクニシ
カラハ俗言ニシギル物ニテアラフコトナリ

カノヒサウナキニシテス イハル ハ
ナホトイハハコナキヤハカナルヨケレドモツシモナホテヤハリマダノ意ニ拾遺ニ辨(タルガゴトシクニシ
カラハ俗言ニシギル物ニテアラフコトナリ

カノヒサウナキニシテス イハル ハ
ナホトイハハコナキヤハカナルヨケレドモツシモナホテヤハリマダノ意ニ拾遺ニ辨(タルガゴトシクニシ
カラハ俗言ニシギル物ニテアラフコトナリ

カノヒサウナキニシテス イハル ハ
ナホトイハハコナキヤハカナルヨケレドモツシモナホテヤハリマダノ意ニ拾遺ニ辨(タルガゴトシクニシ
カラハ俗言ニシギル物ニテアラフコトナリ

カノヒサウナキニシテス イハル ハ
ナホトイハハコナキヤハカナルヨケレドモツシモナホテヤハリマダノ意ニ拾遺ニ辨(タルガゴトシクニシ
カラハ俗言ニシギル物ニテアラフコトナリ

心をせうちそへんををばらさるる
気がつくやウノ心トイハハイミシキカコトシ
ウナツハユエヨシモ金ナリ九約ニテアメリ
ノトイハコトナリ

是心ハアメリ家ナトモヨク又萬事ニツクヤウノ女モ一スナハ頼ミシト云セ
あり此ゆゑなりんをせユエヨシノ一モイハありのゆるぎんをうちそへ
ゴトク何ワサモアシヒトホトムキフシアムラユエ
有トモフアリトモイフ

イヒタミ詞ニウケ切トイフホドノ詞シト
イハガ如シ月所説ナクマヤカニツカ
カナンウミモハヤ堪忍スシシトイハハ
イタクダガ(リ)イヨロコビニヒトイフ詞ナ
何ト心得タルニカ

うしろやんくはちきり所ふつとハ
コレ昂り上ノ物マヤカニツカテハ趣ト
イハモノナリ

トウヨハハハトハヨロコバシ心也次所ニ
モトクハシトアルト固シ其ハイサカカク
タ所ノキス有リトモ夫ヲアサカテ求
メシトナリ此段ハイサカヨキ所アリトモ打見ムハタノハリス又オクシタル方トモ夫ヲ一スナハスナ
カメシ心ノ内サハナラカナラハ心ヤスシウハハナサケハ自ラ長キ内ハナラモ心モツカハヤカラ直ル(キモ)
ソトナリ

くみ伊ふ遊き、ゆくをいウフミハ舞言ニヨムシ初流ニ論語オスヲ引シタルサラニアダラヌコトナリ

見よぬさゆふ眼ムベキイモモエラヌ
サニニケルナリ

くみをつくりミサヨニモテツケテトモ
イ(リ)クシヌマウニ心ヲツケテモツクン
女、死心(キ)コトナリハツシク知ラヌ又死ニテ
ミサツツクリタルト也ツシクシラ又顔シテ
ナリ蓮葉の上々つまる地不
コソりのあゝかひはほくとぶ
ゆき此コト上ハエラ又顔ニモテ
付テ下心アルナリ

くみをつくりミサヨニモテツケテトモ
イ(リ)クシヌマウニ心ヲツケテモツクン
女、死心(キ)コトナリハツシク知ラヌ又死ニテ
ミサツツクリタルト也ツシクシラ又顔シテ
ナリ蓮葉の上々つまる地不
コソりのあゝかひはほくとぶ
ゆき此コト上ハエラ又顔ニモテ
付テ下心アルナリ

くみをつくりミサヨニモテツケテトモ
イ(リ)クシヌマウニ心ヲツケテモツクン
女、死心(キ)コトナリハツシク知ラヌ又死ニテ
ミサツツクリタルト也ツシクシラ又顔シテ
ナリ蓮葉の上々つまる地不
コソりのあゝかひはほくとぶ
ゆき此コト上ハエラ又顔ニモテ
付テ下心アルナリ

くみをつくりミサヨニモテツケテトモ
イ(リ)クシヌマウニ心ヲツケテモツクン
女、死心(キ)コトナリハツシク知ラヌ又死ニテ
ミサツツクリタルト也ツシクシラ又顔シテ
ナリ蓮葉の上々つまる地不
コソりのあゝかひはほくとぶ
ゆき此コト上ハエラ又顔ニモテ
付テ下心アルナリ

くみをつくりミサヨニモテツケテトモ
イ(リ)クシヌマウニ心ヲツケテモツクン
女、死心(キ)コトナリハツシク知ラヌ又死ニテ
ミサツツクリタルト也ツシクシラ又顔シテ
ナリ蓮葉の上々つまる地不
コソりのあゝかひはほくとぶ
ゆき此コト上ハエラ又顔ニモテ
付テ下心アルナリ

くみをつくりミサヨニモテツケテトモ
イ(リ)クシヌマウニ心ヲツケテモツクン
女、死心(キ)コトナリハツシク知ラヌ又死ニテ
ミサツツクリタルト也ツシクシラ又顔シテ
ナリ蓮葉の上々つまる地不
コソりのあゝかひはほくとぶ
ゆき此コト上ハエラ又顔ニモテ
付テ下心アルナリ

らんをばらさるるびよおのひささう
おられ

くわあらんををもあながちよめくめく
強テニ

くわあらんををもあながちよめくめく
強テニ

くわあらんををもあながちよめくめく
強テニ

くわあらんををもあながちよめくめく
強テニ

くわあらんををもあながちよめくめく
強テニ

くわあらんををもあながちよめくめく
強テニ

くわあらんををもあながちよめくめく
強テニ

くわあらんををもあながちよめくめく
強テニ

くわあらんををもあながちよめくめく
強テニ

くわあらんををもあながちよめくめく
強テニ

ノサミヲ馬頭カケカニハアハシト思ヒカ
今ハニカラストナリ

海邊ニ
うらうらづらなぐまをひくくぬぐ。馬頭

わづなゆりーさ兒。女房あぶの サヤウナ

ナ言ヒ 物終よみかをきくそいどあ

たれよあひくふきこく終と。か

みさをさなんおひくひく。おあひ

おあひかひくひくひくひく ナキ びたる事

あり。ふくふくらん男をおきく。み

みくくびトハ雅更ニサヤウノ業ツシテ
人ヲモカサシメ又アトノ子ナトニモ苦
勞ヲサスルコトサラニ化リ出ルヤウ
ナハコトハカバシト也
此段ハ又アメリオシコメテ心ヒトツ納メ
テ何レモ見シラヌ顔ナルモ又タノシメ
物ナリト心也是ヲタ顔ナト當

見よそのまの男ノ業ノ海キ心サシラバシラヌモノヤウニサシアタリテ世産ニケツラキコトナトモ

留め乃すまうきこくひく。モトノザシハ

フキ 田 人の心をみちるやうよ。あげがま

く。びとをささひ。 ソノ男 心をみんと

まら カ 花子。カリテソノ オ ながき世のいのちひ

まら。いどあはたなきこく。 カヤウノナリカラ 毛糸

サハシテ菩提心ニオモキ 給フハ 心やあど他人 ハ ため

くくく。イまく心ニ あ くれむくみぬれば。

終き世の物心ふるサヤウノ業ツシテ
ツヒニ離別スルコトモアンライナリ
心ゆるやゆり見ハ古今ニ男ヲウラミテ
ミツナリニテ尼ニナリテ都を君あふ
その浦ふらうし か ちく カ 残
みつのあひく カ ちく カ 心
ナリトアリ

あられもく カ ぬれば カ 心 カ ヒトツシ思ヒ
エ、しん カ ン カ ン カ ン カ ン カ ン

やうく何事にもありぬか。家ヲ出テ
カクレタルニ、ニテ、^巫俗言ニイフヤカテ
ニハアラズ

やうくあやまらぬか。ゲテノ女ノおひさし

祀ハ。清潔ニシテ

還俗ノ心ナドハカウテナキ
カアミとくもあきらめ。ハカハレシ人ノ来ト
フラヒテ
イコシ

恥ウ好カクもおぼ。ありた旨味よま

どやうい。おひさし。テハイヒソトニ

ひ。憂

女ノアミナリシ。つけ。おとせバ。

ひた。心モ見ムトス
ホドニト有シトクニ。此女ヒマスラニ男ヲウ
ト思ヒナシタルニハアラズナリ

後漢書註。鄭玄曰。礼記。云。后之。言。後。言。在。夫。之。後。故。以。女。謂。後。達。

後漢書引シタルコト。檢遺ニイヘルゴトニ

ソノミナリノ。つり。あ。キツケテ。男

君の。ハ。あり。る。もの。然。

カリアミナリ。あ。つり。身を。た。い。ふ。

ソノ。あ。ひ。か。を。あ。は。り。て。

あ。あ。い。を。あ。ひ。み。ぬ。し。

志の。あ。い。を。あ。ひ。み。ぬ。し。

く。あ。い。を。あ。ひ。み。ぬ。し。

昔。尼ハタシ。額。髪。ヲ。唱。食。ナト。ヤウ。ハ。サ。ク。サ。リ。サ。ル。コ。リ。テ。ヒ。カ。ミ。カ。イ。サ。ク。ト。ハ。リ。ト。也。
ヒ。多。ク。グ。ク。セ。キ。コ。ト。ア。シ。テ。ア。タ。ラ。後。ヲ。ク。キ。ス。ニ。
タル。コト。後。悔。ヌ。ル。サ。ナリ。

コラヘシク

ともお月あがるよ一度厄ナリメル身ヲクヤムハ不

とけもたつらんききたあ〜とみあひつべし。

俗ニ濁世アルナリシ 道心ナラヌシ
まづりにはあはれほしくもあまうかびよ

てかうてあき及よとたぶよひぬべ

くぞ覚ゆる。ヨニヤソノ男 ぐえぬとくせあ

さかうて。何にもあさで 男ノ たづねと

り〜んも。一を男ヲ捨テ出家セシ女ナシバ 一何ひをひて
やがて。

一ハニヤガテシタニアヒソヒトアルゾヨロシキ此詞ナクテハヤガテイトイフコトダエズ湖月ノハニ此言ナキハ同ニ言ノ下ニモ

おどりにあめを程よくもねま〜ん
や〜ハ 俗ニ濁世アリシ時ヨリ
カリ出家ノ後心ノナマウカヒナンハカリ
テ悪道ニヨブキトシ 蓮葉の
溜りふちやぬ心りて何のハ後を
あ〜何とひ〜

アん故す々ニワツラハキシト必ヒテサカシラニハブケンニヤ又一ハニソノ必ヒサトイフヨリアシクモヨクモトイフニテ
ニクモシノキハアヒソヒトイフ詞ノニツアルヨリテソノ中ノ語ヲ見オトシタマヒテオナタルナリ此語ト
モ、ナクテハハ解エズヤガテアヒソヒトハニスル
ソムキニ後男ノ心ノナガムキフニモナクシテクムキ
マニテ又カリテアヒソフニソノ必ヒサハ
ニツムキテ家ヲ出シテラ必ヒサハナクテ
そのおもひおと上。〇。〇。〇。〇。異本ナシト也
サテ一度家ヲ出タル名残イツミテモ男
ノ心トケカキキモソフトニリ
後。め〜公お〜ま〜 や〜此や〜ハカカシ
ハセシノ意ニテヨクモ悪シクモワヒトケサ
ル中〜ウシロ止ヌハ心オキナキノ心ナリ
又思フニヤハト有シハ心オカシスヤハ
アハ心オカシノ心ニテ此ツキハキリ
フカリアハシナラメト心ノカカルト也
シ女ヨシヤタツネトリテアヒソヒタリ
トモ 我も〜

時 節
なりもからんきぢみをも〜

ありこそ。ちぎりふか〜何れなるめ。一を出家セ

シ女ヨシヤタツネトリテアヒソヒタリ 我も〜

あめ〜んたれがやハ。タガヒ心オカシ

うつろあ〜あ〜ん

明のふ〜り〜此ノメハメシカニウツヲニハアテ
メイサハカウツヒフ意シナチサリトイフ能クシタメのめよイサハカ
ガ(リ)又タミ詞ニナノメニテトイハハモトヨリ
女ヲナチサリニせん意カクハ遠(リ)

トキハ此をみ別解アリ
心ヲ秘ル方行リトモト(男ノ心イサカ機フ男
方アリトモ見初シ契リヲ思ヒイテハ男モサスル
捨モセヌモノナシハ女ハイツク迄モシラ又顔ヲ夫
ヲ大事ニスルソヨキソレヲ恨ナトスルツカハリ
テ物ワカレトナルハニナリトナリ

ケニキキモノナテフリウケルサマシ
けしきなきをみそむく女ハた
嫉妬ヲ食ニテツヒ男ニ北月クヲテ

こころがすかりあへん。男ハうつろふか

みそめ。あつと。伊とわしくあつと。冬
前ニ女ヲサササタニイトホシク思ハル意
ニイハハタガ(リ)男ノ女ヲイトホシク思ハル

ありとも。みそめ。心ざし。ヲニナフいと取

ささか。のよんぐろそそ。あつと。あつと。あつと。
あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。あつと。

頭ノ詞ヲウケテ彼
 分ウチユル(テ心ヤス女)
 ナウ(ミ言ヲクハイヘル也)
 出サテタノモシケサキトハ
 コツナカヌフネイトアル
 ニ
 詞ニアリテイ(ルテ)
 コハ嫉妬モアトヨ
 クシテ男ノ心ヲウツク
 ヤリナルコソヨケレシヤ
 ヲサメムカクタノミト
 モナラヌア(リ)故サキ
 物リタカヒアラシコソ
 大率ナシトハイ(ル)
 ツアムカ、シハ此タノモ
 シケサキハ男ノ心ヲ
 メニタノモシケサキ也
 此段実ニキトリニクキ
 ツキカラリケシハ上
 詞ヨリ例ノ卑ミナシ
 リハフル也

うそぢうのあゝ(まあれ) [ワレト] [コト公] [サ、サメ] [オノ] あやまらぬくて
 彼空ウタガヒノクセサドハ [さ] [あ] [り] [て] [も] [ぬ] [く] [こ]
 [誰モ] ねがえられもそれさ [ヤウニ] [ー] [も] [う] [う] [ト]
 [男ハ] [とも] [ア] [シ] [か] [く] [も] [ア] [シ] [ス] [ク] [シ] [テ] [ア] [シ] [キ] [コ] [ト] [タ] [シ] [ク] [ハ] [只] [女] [ハ] [少] [シ] [ツ] [バ] [ノ]
 [コ] [ハ] [嫉] [妬] [モ] [ア] [ト] [ヨ] [サ] [ガ] [よ] [ぶ] [ま] [ゆ] [あ] [ん] [を] [の] [ご] [や] [う] [ふ] [ん] [ま] [の] [ま] [ん] [ヨ] [ル] [ベ] [ト] [う] [り] [わ] [り] [に]
 [ま] [ず] [の] [あ] [る] [所] [ド] [か] [り] [ま] [り] [と] [ひ] [て] [わ] [が] [つ] [も] [う] [う] [の] [ひ] [め] [君] [茨] [上]
 [ま] [げ] [あ] [ら] [ぶ] [の] [ふ] [お] [あ] [ひ] [あ] [り] [と] [い] [ヒ] [テ] [源] [氏] [君] [キ] [給] [カ] [レ] [イ] [へ] [が]
 [源] [氏] [君] [の] [ワ] [ザ] [ト] [う] [ら] [ぬ] [ざ] [リ] [タ] [ル] [フ] [リ] [ヲ] [シ] [て] [こ] [と] [ば] [ま] [せ] [あ] [り] [ぬ] [を]
 [中] [将] [さ] [う] [り] [ま] [く] [心] [や] [ま] [う] [ら] [り] [ゆ]

ろん(と)き(る)を(受)け(る)ウラム(カ)ラ(フ)シ(テ)モ(コ)ハ(同)シ(ク)ニ(ツ)キ(ナ)リ(テ)サ(ユ)ル(ニ)ツ(キ)テ(ウ)ラ(ク)
 必(フ)ニ(エ)ズ(ん)ハ(心)ウ(ラ)メ(シ)イ(必)フ(コ)ト(ウ)ラ(ム)ベ(カ)ラ(フ)シ(ハ)恨(ミ)シ(イ)フ(キ)フ(シ)ニ(心)必(フ)カ(タ)ト(言)イ(フ)カ(タ)ト
 ヲ(ニ)ツ(キ)合(テ)イ(ル)見(シ)ル(サ)ニ(ツ)キ(タ)ミ(詞)ニ
 見(テ)見(ヌ)フ(リ)ニ(ト)イ(ル)ハ(ウ)ラ(フ)ア(違)ヒ(き)る(め)を(ば)う(恨)む(ま)に(不)の(め)也。

恨ライフベキ(と)思(ふ)ん(ふ)を(も)お(く)か(は)か(ま)め
 う(む)ぶ(ぐ)ん(ふ)を(も)お(く)か(は)か(ま)め

それおつ(て)も(此)下(に)お(つ)て(は)何(も)
 ち(さ)ば(ぞ)れ(ま)つ(け)て(も)あ(ら)れ(も)お(ま)り(ぬ)
 ち(さ)ば(ぞ)れ(ま)つ(け)て(も)あ(ら)れ(も)お(ま)り(ぬ)
 お(ほ)く(は)か(ま)め(を)み(る)人(の)お(ま)り(ぬ)
 一(向)嫉(妬)ウ(ラ)ム(心)モ(ナ)ク(サ)シ(ユ)ル(テ)カ(ハ)ヌ(モ)

ち(さ)ば(ぞ)れ(ま)つ(け)て(も)あ(ら)れ(も)お(ま)り(ぬ)
 ち(さ)ば(ぞ)れ(ま)つ(け)て(も)あ(ら)れ(も)お(ま)り(ぬ)
 ち(さ)ば(ぞ)れ(ま)つ(け)て(も)あ(ら)れ(も)お(ま)り(ぬ)
 ち(さ)ば(ぞ)れ(ま)つ(け)て(も)あ(ら)れ(も)お(ま)り(ぬ)
 ち(さ)ば(ぞ)れ(ま)つ(け)て(も)あ(ら)れ(も)お(ま)り(ぬ)

此のうぬ舟の河海文選ヲ引レタルハ巾の巻シタコハ白氏文集ノ偶吟詩無情水任方圓
器不敷舟隨去住風トイヘルヲ
おぢえ侍るか。づねぬあねのうきたる

トリテ書んサテゲニアヤナシハ文
カクリテイ（リ）

たれもばくちや好い。ざん侍るぬか
馬頭

いハ中將うあづく。中將ノタニフ
ゲニ所

あうてをう。さもあられも。男ノ心に

別ニ解アリ
よもいげ好きう。かひ女ノアタシ
テ他（ムラ合んヤウノウタガハシキウ）
アムライイナラタニ訂ニアマリ男ヲサシユ

女。他（コロ合んヤウノウ）
ウタガハシキ

又タ能上ノるニアラタムモアタラヌ又
拾遺集ノシラコニ引タムモカハス此
歌 契沖カ引タム所ハカサ（リ）
恨ぬもうさけくをぬぬのたのむさろの好きうと抑（）
拾遺 意五

アタシニキナリナリ
男ノコがんあやまちなく。ソノ女ヲミすぐ

めし新布ーてもコレハサアガリトイフベキコトナラナシトイヘルハアマチナリテ見ユシ
テ血ヲシムル男ノ方ニツキテイ（バサリ）

さバオツカラ女心モ
さーなやーてもあどかえ

とまかもささ（）きゆあをを
紫上ニトイヘルハコニハアタラヌコハタマ
タカフキフシラモドヤカニ見シムサオ
トシテハスコト有んニカカリケリトイ

いんとおぢえたまを。それさーもあ
サヤウニシテモナアリカヌル

（レバ紫上ノエズベキるヲバ見シム
サニカスメナスヲ女ヲ嫁トスルコト

見ユルサヨリ
はらとさあま。めりりまといひてげが

いりこの紫上ひめさみか。このあさめよ

あひ好（）とあ（）
源氏ノ 君のうら味
ソラヌマリヲ

物さるめは博士集覽博士トハ字

官名学通古今註セリ一カノ
道博士ト云アリノ定馬頭好色
ノ方ヲ能シレハ博士トナリテ

ニテ人
ありてことなきをせ給もぬを。頭將ハ
ふ足ニサヒ
くー心や下ーとおりのおの
カシ
おののわこ
おの

ひらきぬり 俗ニヨリタキキナリ道理ヲ弁定ん判者

ロヲタキ居タリト
ハリヒナス

トイフコトニ 崇武部日記ニヨリ

クナル人ノギン一ノ十キマニフルキ
及古ヒキサガレオコナヒガチニク
中めははくまらひをてんとふよれ

ヒラカシズノ青タカキナドイトコロ
ツギナク見ユルワザトアヒトコ
カシハ經ヨミ念佛ナドロササヤヌ

ズイヒツクムヨイ一リはホコリ先
初トイヒ冬ニ引披キテ産ノ
改メ居ルトイハ皆ヒガコト

別ニ解アリ

乃ぞろ成の物をふよ海せてつくりさ

されをみハ人ニトシヤスキハ
ニラヒエニナンサマナト周ニテ其エノチヨツトウツクエク臨時ノ物トツクムハ打舟ニ目ヲ終ルカニテ
ヨキヤウナレトサハアラフコトノヨキサマハ
打舟目ニハ分明ナラヌ物ナリミレテ人ハ
ト云ナリ

そバ匠スキ 倭ツキノ形ニツキハ

時トリノ作リダスマテアソビ也
カマクモ
定マリスル抄モ

ツギ年ツキナドノツキニ
されを分俗ニシマレルトイフコトニ也
ドモ皆ヒガコト又河海ニトイフ人ニトシ
バ人ニタハフシラ好ム人ト見ユ空祇也
官ツカ人ニタトヘイフコトイハんモ皆ヒガコト

トニコレハウムノ風流メキナサケダチ
ヲ要ナキ女ノタトナリ
ろ取りき人のてゝりどのウハニキハ
ツドカカリテ人ハカ、ラズ人ノウハ
キラウドバイフロトニタニシウハシキト
見テ観人ニトイハルカ、リ又ハ
ドヲ花鳥ニ香疊ノ茶茶花ノ葉ナド
トアムイカ、何ニトドバサニテハイフキ
ニアラズ又タトナリ人ノ本屋ナニト
キ人ハミトアム注モカベリフノ意

まこゝろなりき人のてゝりどのウハニキハ
まこゝろなりき人のてゝりどのウハニキハ
まこゝろなりき人のてゝりどのウハニキハ
まこゝろなりき人のてゝりどのウハニキハ
まこゝろなりき人のてゝりどのウハニキハ

是ヲ家ヲサシ本妻ノヨキタトナリ

雜

乃ぞろ成の物をふよ海せてつくりさ

ニアラスタニコルハ安ナク女ノメトナリ
繪所 西宮抄云、畫所在式乾門東
腋御書所南有別當五位藏
人預ララ

志づるごとくなんぢやまことよの拍乃よむハ
コレスル格別ニ
さるるごとくなんぢはれ侍り又急所よま

おわくれど。墨繪ニ
おわくれど。墨繪ニ
おわくれど。墨繪ニ

おわくれど。墨繪ニ
おわくれど。墨繪ニ
おわくれど。墨繪ニ

おわくれど。墨繪ニ
おわくれど。墨繪ニ
おわくれど。墨繪ニ

おわくれど。墨繪ニ
おわくれど。墨繪ニ
おわくれど。墨繪ニ

おわくれど。墨繪ニ
おわくれど。墨繪ニ
おわくれど。墨繪ニ

ふくらみの山は海につく。後漢書張衡傳。畫工惡圖大馬而好作鬼魅誠以テ
實車雞形而虛偽不究也ト云同シ

うねる。敬馬カレキサマニ
うねる。敬馬カレキサマニ
うねる。敬馬カレキサマニ

うねる。敬馬カレキサマニ
うねる。敬馬カレキサマニ
うねる。敬馬カレキサマニ

うねる。敬馬カレキサマニ
うねる。敬馬カレキサマニ
うねる。敬馬カレキサマニ

うねる。敬馬カレキサマニ
うねる。敬馬カレキサマニ
うねる。敬馬カレキサマニ

うねる。敬馬カレキサマニ
うねる。敬馬カレキサマニ
うねる。敬馬カレキサマニ

うねる。敬馬カレキサマニ
うねる。敬馬カレキサマニ
うねる。敬馬カレキサマニ

うねる。敬馬カレキサマニ
うねる。敬馬カレキサマニ
うねる。敬馬カレキサマニ

まぐさの山は海につく。嶮岨ナラヌ
ナリトイハルヨシ河海ニ徳カ多ク
スゲナカラヌ山ト人皆ロシサテコニ嶮
岨ナラヌ山ヲ稱シイフハ嶮岨ナラヌ山ハ嶮
ニカクニケシキ有テオヤスキナダラカ

うねる。敬馬カレキサマニ
うねる。敬馬カレキサマニ
うねる。敬馬カレキサマニ

ナル山ハカキニクキ故ナリ

たきそ外ををれんをモシ下受タ

ル言ナリ程ナラズイキホヒコトニカリ

ヲトカリヲトイフ言ヲ加ヘテ心得

シテ

シテ分ナリ金固ハ以墨墨墨山

十五重廣高五重也

れすよとのすら銭唐穆宗同

竹筆法柳上権曰心正則筆正筆

正乃可法矣トナリ

らぬ山のなりき。おぶうく世をぬきまらた

ナシテ遠近ヲロクシ

みなり。はらわきまらぬのうちをそのころ

ナド心ヲ用平タス

あつじおきてあつをなんよるハいとつきは

ひくくよるそのハおよそぬおほく免て

をわぬるよも。あつきことハあく。そのこれ

魚画長 草書 定よりんナリ

てんあがま。アうたそことうとあくりき

をめるがうちみまにわくく。きぶら

カトリテ見ユ心

カトリテ見ユ心

その目の情をたえこのむやしく実ヲモトシテ云割ナリサテ此各註ニテナリハカリニアラス

源氏君頭中將ハ後ニ天下ノ政ヲ取人ナシハコノイソヨクテサニ奉令ナリト云ハウケカカシサ

心ハナシ初ノカシコシトテ人世中ナ

政リコナシト有タ。吐シノリコ。あなまことあはらわをこまやかり

トナリ

かきえさるま。うのあできえてみゆま

と。今ひとびとありあつてみまをな

真ニキ筆法ノ方見所多キ

あつちよなんよりらる。んらなき。まぶ。かく

ト実ナルトノタトナリ。巨。ノ実。え

ろそ。ゆま。す。て。人。の。ん。れ。ま。ま。よ。あ。り

方ノタトナリ。本妻タム。キ。女ノタトナ

ド。ア。ん。ハ。意。タ。ガ。リ。又。宗。祇。は。源。氏。て。り。き。た。め。ん。み。あ。れ。な。ま。け。を。ば。え

君取中納ハセヲマツリゴクカフキ

ナドトイヘシド。甘。ん。意。ハ。ナ。シ。ト。ニ。カ。リ。ニ

カラ書ノ意ニカナハムトスルハムカシ

このむす。く。あ。あ。一。ゆ。る。馬。頭。カ。若。カ。その

ウカレアリクヤウノ意也
の怨トを物怨ニテウカケル
ハ則嫉妬ノ原キヨシ也

心ニテウラム人
嫉妬

カクウツカフ
くしゆりしうだうろづまなう。とか

アテテ 大マウナラシバダノ意
らでたううあうはうとあひつ。あすり

由断ナリ
いとゆりなううがひゆりしううさ

かく教あうぬをを是女嫉
く。アメリノトニクリテハ かく教あうぬ 馬頭ガ一合

妬ニイタリコウジタルヨシナリ馬
頭カ心内ニ我身ハ官モ浅ク

年モ少ク
カハ見ウウのあはるぬや
水の面ナリかく教あうぬ
をううせん

とふらうまきをうりくもゆりて。又 自然
志祿人

自然ニ心納ラシ、ニテオノツカラシ此女ヲシタフ心モ納リテ
ウトキ心 地スルナリ

女ヲイヤニナリ
心をさあうるやうなるんゆり。此女のある
細 是ヨリ平性ナリ

やうゆことより。ミツカラムノ
あひうううけれ

ことしをさうで出の人のあまことちたて
馬頭ガ 呼 心ガシラツク

スナリ
をいし。おられさすおれんをぬ。ちんち

をうはワシニ 見えトと思ひたげみつ。

こにかくしつきて 抽あめやうううらうつ
倍実ニ

ゆもてもがうたがう事ハなくもがれ

修そをさう一たのえそな及がぬ
るゆををさもをらん。とあひて
とれ意ゆり。

はくをさかす 次ハつゝなまよひの...
ほもそり

おひ...
おひ

あれども...
あれども

あひ...
あひ

此ノス、元ハ好色ノ方ニ...

ソノス、元ハ好色ノ方ニ...

カ心ニカハカリ我ヲシタフハ好色ノ者ト...

カ心ニカハカリ我ヲシタフハ好色ノ者ト...

コノマシキヤハ目ニツカ又所アルニ...

コノマシキヤハ目ニツカ又所アルニ...

馬頭ハ丑ニナル女ハ好マ又由ナリ

馬頭ハ丑ニナル女ハ好マ又由ナリ

居テ見テ...
居テ見テ

は...
は

ア...
ア

し...
し

き...
き

の...
の

ワ...
ワ

あ...
あ

め...
め

ト...
ト

カ...
カ

はくをさかす 次ハつゝなまよひの...
ほもそり

おひ...
おひ

あれども...
あれども

あひ...
あひ

此ノス、元ハ好色ノ方ニ...

ソノス、元ハ好色ノ方ニ...

カ心ニカハカリ我ヲシタフハ好色ノ者ト...

カ心ニカハカリ我ヲシタフハ好色ノ者ト...

コノマシキヤハ目ニツカ又所アルニ...

コノマシキヤハ目ニツカ又所アルニ...

馬頭ハ丑ニナル女ハ好マ又由ナリ

馬頭ハ丑ニナル女ハ好マ又由ナリ

居テ見テ...
居テ見テ

は...
は

ア...
ア

し...
し

き...
き

の...
の

ワ...
ワ

あ...
あ

め...
め

ト...
ト

カ...
カ

テモ也...ハロサガキニテ嫉妬
ノミニハアラス元来廿ハカリ物ニカ
ナル女ナリテハ其ハハ異見モア
リ家ヲ為身ノタメニイサメヤルキ
故ニワレテテニツバエナリ前文ニ

萬年夫...
加...

うらんとあひたすておとさうになさけれ
くつまぢなきさあをみとく。女まいてたら
くらえむむらふ。馬頭かくソラ心
おをすく

カス文ノカ、リモニ重ニ重ニワ
リテ其スナリ、ワカシカヌク其
スナリノワカヌカキリハニゴトノ文
義ヲウノハラミイレシテアタハス

今モアキキナナナ
オソシ
トナ

ちぎりゆくともも多女約おつる
宿世の世傳くともと傳ふより
かみゆをす一丸く古語拾遺ニ

今俗強女謂之於漢志トア
於漢ノ轉語ニテ

悪ク愚癡ニキ方ニイフ討トナシん也亦ナクハ桐壺六葉にけりナリ

えん...
えん...
えん...

念堪忠シテ口ニ嫉妬心ヲ大概ニシテ人
嫉妬ノモロダニハ
物ネ

えん...
えん...
えん...

念堪忠シテ口ニ嫉妬心ヲ大概ニシテ人
嫉妬ノモロダニハ
物ネ

えん...
えん...
えん...

えん...
えん...
えん...

えん...
えん...
えん...

実ニウエトハフゴトク
見セテノ意ナリ
コハ女ヲコサナリ
タメニツクリテスル
コトニ

如常候之

無理

ハハハ

好く婦人ありきまきナクノ下ニシトイフ辞ノ落タルナリ

此辞ナリテハキノテヲハトノハス一布看、ならぶ人なくアヒシ
あま、此を我の賢

ベキヤウナドドアレドワシモ語トノハス
宿本、引くは得ぬ中を好く、
トモアレハワシモアラスイヒスアコ也、モテを、
一たつるうあくたもひたすて。

伊ハヤ、宿本モ引カヘヨコエマテ
好ミソシ後へんにイヒスゴ志ナリト分モ
馬頭、ツヨクイヒスゴスシ、
覺悟定リテ

有レシ殺字ハアテラス
如此し、
ふらわらひて、馬頭ガ、
見栄ナク物、
友位昇進テ

くものぎらきほぐをえりて、人教る

好くにひひ好く、
さの切やもひひれさる

見立ナクテ前人ナシ、
給フトリトモモナキ、
クルシト云リサテ此人カスナル世モヤト待

方ハイトトカ思ヒナサレテ、
アムシト云フヲ思ハセテ、
頭ニイテナヒキテ、
少シウキワラヒテト云是馬頭、
△カリ心切ノ女別シトスル時ノサ、
ヤリテ衣ナリカ、
平人ナトトニ常多シ

アムシト云フヲ思ハセテ、
頭ニイテナヒキテ、
少シウキワラヒテト云是馬頭、
△カリ心切ノ女別シトスル時ノサ、
ヤリテ衣ナリカ、
平人ナトトニ常多シ

アムシト云フヲ思ハセテ、
頭ニイテナヒキテ、
少シウキワラヒテト云是馬頭、
△カリ心切ノ女別シトスル時ノサ、
ヤリテ衣ナリカ、
平人ナトトニ常多シ

アムシト云フヲ思ハセテ、
頭ニイテナヒキテ、
少シウキワラヒテト云是馬頭、
△カリ心切ノ女別シトスル時ノサ、
ヤリテ衣ナリカ、
平人ナトトニ常多シ

アムシト云フヲ思ハセテ、
頭ニイテナヒキテ、
少シウキワラヒテト云是馬頭、
△カリ心切ノ女別シトスル時ノサ、
ヤリテ衣ナリカ、
平人ナトトニ常多シ

アムシト云フヲ思ハセテ、
頭ニイテナヒキテ、
少シウキワラヒテト云是馬頭、
△カリ心切ノ女別シトスル時ノサ、
ヤリテ衣ナリカ、
平人ナトトニ常多シ

アムシト云フヲ思ハセテ、
頭ニイテナヒキテ、
少シウキワラヒテト云是馬頭、
△カリ心切ノ女別シトスル時ノサ、
ヤリテ衣ナリカ、
平人ナトトニ常多シ

アムシト云フヲ思ハセテ、
頭ニイテナヒキテ、
少シウキワラヒテト云是馬頭、
△カリ心切ノ女別シトスル時ノサ、
ヤリテ衣ナリカ、
平人ナトトニ常多シ

アムシト云フヲ思ハセテ、
頭ニイテナヒキテ、
少シウキワラヒテト云是馬頭、
△カリ心切ノ女別シトスル時ノサ、
ヤリテ衣ナリカ、
平人ナトトニ常多シ

アムシト云フヲ思ハセテ、
頭ニイテナヒキテ、
少シウキワラヒテト云是馬頭、
△カリ心切ノ女別シトスル時ノサ、
ヤリテ衣ナリカ、
平人ナトトニ常多シ

アムシト云フヲ思ハセテ、
頭ニイテナヒキテ、
少シウキワラヒテト云是馬頭、
△カリ心切ノ女別シトスル時ノサ、
ヤリテ衣ナリカ、
平人ナトトニ常多シ

アムシト云フヲ思ハセテ、
頭ニイテナヒキテ、
少シウキワラヒテト云是馬頭、
△カリ心切ノ女別シトスル時ノサ、
ヤリテ衣ナリカ、
平人ナトトニ常多シ

アムシト云フヲ思ハセテ、
頭ニイテナヒキテ、
少シウキワラヒテト云是馬頭、
△カリ心切ノ女別シトスル時ノサ、
ヤリテ衣ナリカ、
平人ナトトニ常多シ

アムシト云フヲ思ハセテ、
頭ニイテナヒキテ、
少シウキワラヒテト云是馬頭、
△カリ心切ノ女別シトスル時ノサ、
ヤリテ衣ナリカ、
平人ナトトニ常多シ

此のうらみはくわらりて是ハサバカリノ痛ニナラネトカ、ル時節故殊ノ外イタムサマニ馬頭狂言也

此のうらみをひきよめててひッキて侍をとお

どろろくくかこちを。かゝるきずさしきぬ

ればいふく。物起三人中、市よりひをばさきに

とあゝばをひきよめぬ。恥辱ヲアタヘシトシ。位

いふくあゝつてうは人めかん。カリカタハニ

廿八トシバ。出家ニナリヌヘキトシ。世をそむきぬ。き。オなるし。めせ

いひたご。て。ば。あ。て。お。あ。れ

いふくしめ。後。あ。つ。ま。位。上。見。だ。テ
ナ。物。ゲ。ナ。キ。ホ。ド。ラ。ミ。ト。女。ノ。イ。ハ。ア。マ
リ。テ。イ。フ。シ

新前文ニヨユヒツカ、メテトアル其指ヲ直ノニ折テカツルヨシノカ、リ也

と。此。お。よ。び。を。か。め。て。女。モ。ト。あ。う。で。ぬ。

シウヤウヤノ意シヤトイフベキヲヤシト
イハル傍多シ君ガウキフシハ女ヲ取ラウシト也
フベキフシト一音ノ意ハ指ヲウリテ逢見タ
シヨリヨナタノ年月ヲカヅテテモアツク
ヲ必フニ君ガ衣ヲウシト必クハキヲハタババ度ノ
一フシノミコソハアラメ外ニハナシトシ次ノ意ニエキ
恨ミシトイフモ此意ニテコソワシカナシトハ語
モシ四ノ句コレノミナラズノ意ナラバコレツカハトツ
有ベケレヤトイフベキ語ニアラズ世人ノウキ
ヤウノツタナキヲハナキナリ

馬頭此カメシキノ指ヲ折テアヒミシヨリヨナタノ年月ノコトヲ思ヒ
イハレをうて。あひん。こと。を。か。ぞ
ワタシテ其間ノイウカワフシバ只此度ノコレツカハ君カワラウシト
あまばられひらつやれ。君がう思ハシキ

フシナラシ外ニウキメ見セシハナシ。今ハ女モウラミシト馬頭カイヒシ
えう。み

いひ。侍。れ。だ。は。あ。う。う。う。ま。ち。な。い

口此度ノミトノ給ヘト年比ウラサク説キを。き。き。き。
知れん小アサユフの多き。て。コト。ハ。出。ノ。モ
ヤ我モ若くしと。い。ま。を。う。り。し

馬頭ガツラキ心ヲカゲツ、イノクモセコラへ色ニツルグトシ
うきふ。い。を。女。ん。ひ。ら。つ。ふ。あ。ぞ。き。き。き。

此度ヤ君ガキヲ別ルベキ折ナラントシ

扱フルヨリハトハイナリ

互イヒアラフ

臨時の祭賀茂臨時祭調樂十月

午日於北陣擬假屋有儀式有

卿食膳親不血等字多御代末

義アリ延喜四年十一月廿日因

雨雪着淫履此物語イミ

シウミワシフル夜ト云ん此時ノ面敷

也云但し祭リ同月一箇日也

カモナリテウカシアル

あくおれすのうらうらくに

祭のてうおくよ夜あけて

ある夜これうき大内ヨリ

カモナリテ

あくおれす

祭のてう

ある夜

これうき

大内ヨリ

あつらひ

あつらひ

あつらひ

あつらひ

あつらひ

家傳と又ト未ト西説トネリ思フニ又ノ方勝人シフハ此サマ馬頭カ此夜内ワタリノ旅宿モ進マ

サレハトテ外ニ此女ヲ置テ又外ニハナカリケリト外ニテ心得ヘシ

そらさむくやとコヨヒノキキケニキバミ流ナラ

アメリハウキトケカタシテソゴロハシクカシト

アメリハウキトケカタシテソゴロハシクカシト

アメリハウキトケカタシテソゴロハシクカシト

アメリハウキトケカタシテソゴロハシクカシト

アメリハウキトケカタシテソゴロハシクカシト

アメリハウキトケカタシテソゴロハシクカシト

アメリハウキトケカタシテソゴロハシクカシト

アメリハウキトケカタシテソゴロハシクカシト

アメリハウキトケカタシテソゴロハシクカシト

アメリハウキトケカタシテソゴロハシクカシト

アメリハウキトケカタシテソゴロハシクカシト

アメリハウキトケカタシテソゴロハシクカシト

アメリハウキトケカタシテソゴロハシクカシト

管人よりくハ耻シキ事ニテ俗ニ未練

ラシクヒキウラシキヲ耻ルヨシノ詞也

日頃の恨みよりやまゆらんと雪夜

ノ縁語ナリ。雪ハハシトモ恨ハトケシ

ト也。別ノテニハ心付レシテ日記ハ

ニ空ハクモシト心ハハシ又一文ヤヨシタニ

シラヌモノシカ足ハ十文字ヲフミテツ

アリフヤトノ文法ナリ

ウズクヲクナシテ人ノカヨフアラハナラサナリ

外々々々々々々々々々々々々々々々々々々々

ニテ常ニウチトケ暮ルルキニ衣トモ也

サレハアツコエタルトハアリ綿ヤトタツ

入タルヘシ。アツコエタルハ夜ノ料ノ衣也

カヤリるまハ俗ニドクヤラトイフコトバナリ

臆ニタル体ニ

てなま一人あはけめくづるまど。カノ指も

然リトモ

ケリ。さるまゝこよひ日比乃うみ

解ニ

ハとまゐるんとあふまゐるに。そ女ノ馬頭カ行タニ時ノ

家火は盡ナリ

若サレタル衣類ニ

つごえさる。おんいあるこたうちうけてひ

ル帳トハナリ

驚ス体ニ

きあはけまわらわびをど打あけて。

聖代ヤドノ帳ニ

こよひをかりやと。カノワレテ

さちなるまゐなり。

されせし心付あり。我ヲ待サマナシハコソ此女心ハカハラスワレシタフヨト心ニホコルナリ

さうトハ物読ノ例。そ中人トイフ意ニ用ハ格。正身字ハ古書ニテナリ。見エタリ

必ヒニ如ク。さればよと我。心おごりまゐるに。正身

其女ハ居ヌ。留守ヲスルニ

みはなし。さるべき女房どもをかりとありて。

此夜サモ思ラモシヤ馬頭未ナハ寒カラントテ心ツカヒシラアツコエタル衣トカケスキニシテ思フ此夜ニモ限ラス常ニモ

おやの家ハ細為守ノ女房ノイフ。そ女ハおやの家ニはまゐる人よりぬると此女実情

折ニモ今夜オヤノ家ニ出ヌ申シ。馬頭カ行フサノイフモヨシオカス。中ナアラ

如此サレト此夜ハコトニヤモトナトヤ行ケシカクシタルサニハ。直家隠ニテ女ナクハナケルハ真サ

アラス下文ニヨ守ネトトハサントモ隠シ思ヒス。オトツシモセズシテ。直家隠ニテ女ナクハナケルハ真サ

トア以テモ知レタリ。オトツシモセズシテ。直家隠ニテ女ナクハナケルハ真サ

キキとめをせうそふ。百取ラ恨ミタルケシキ。オトツシモセズシテ。直家隠ニテ女ナクハナケルハ真サ

ヲ見エタルヤウノセウツコ。傍にヒガコト。ルキニヒタヤコモリト思ヘトモ近江海ハウチイテ見目下和泉式部

むつやぶりくしに河海ニ直隠ニトアル字。必ヒテ行シカヒナリ。ヨメ下

ゴトク何ノイハルコトモスルコトモナクニテ故。ごりりになさけるあはれ。この女あはれなりと

トイフコトモシラレズタヒタスラニカクムヤ。オトツシモセズシテ。直家隠ニテ女ナクハナケルハ真サ

ノ意ニヤトイフハコモリトイフヨシレシ言テ。オトツシモセズシテ。直家隠ニテ女ナクハナケルハ真サ

屋ノ意ヨリイテタル言カ。紙強隠ニ我。オトツシモセズシテ。直家隠ニテ女ナクハナケルハ真サ

ニテ強者ニ何ヤナクヒタスラニカクシテ。オトツシモセズシテ。直家隠ニテ女ナクハナケルハ真サ

衣ハ馬頭ガ衣ニ
ウトミネト衣ヲ必ハシヤトイフ意ハ衣ヲ女
衣ト見タルハヒガトトシサシハ衣ヲトイフ意ハ
タツラナクヤコシハモシ他ニ心ヲカハセル男ヤ
ルヨリテイカアウトメカシト衣ヲバ必ヒシヤ
トイフ意ニテコソ表サトハイハナシ古人文
ハ今ノ人ノゴトクミダリニハカザリシマナク
カマウノ一モナホザリニ見ベキアラズ

志ハ馬頭ガ
馬頭ヲウトメカシ心
家越うとみ祐とあつた乃

年月ノ祐
見ナク
サハみ路ハ

カノ親ガ行テ逢ザリシネ又サント
ガリ親ガ行テ逢ザリシネ又サント
カノ親ガ行テ逢ザリシネ又サント

衣服
馬頭ガきき物に取らうも

あひ侍りしふ。馬頭ガきき物に取らうも

あひ侍りしふ。馬頭ガきき物に取らうも

あひ侍りしふ。馬頭ガきき物に取らうも

衣ハ馬頭ガ衣ニ
ウトミネト衣ヲ必ハシヤトイフ意ハ衣ヲ女
衣ト見タルハヒガトトシサシハ衣ヲトイフ意ハ
タツラナクヤコシハモシ他ニ心ヲカハセル男ヤ
ルヨリテイカアウトメカシト衣ヲバ必ヒシヤ
トイフ意ニテコソ表サトハイハナシ古人文
ハ今ノ人ノゴトクミダリニハカザリシマナク
カマウノ一モナホザリニ見ベキアラズ

我をくく思
是夜アマリツレナカリケル故ニ思ヒメクリスニ此女モトヨリ我ヲ心ニウツネトサスカニ女
方ヨリシカアキタルトモカケケレハワサト啾啼ナトヨク云テ馬頭ニテキラコノ心ニヤト
アラヌイマテモ思ヒメクリスニ定ニ馬頭カ為トテ調シタル衣トモサトノ心切ナルヲ思ハシカモアラシト
カマウニ女ウツキヤウハカサトモ
捨シキトノアツキヤウ

あひ侍りしふ。馬頭ガきき物に取らうも

我をくく思
是夜アマリツレナカリケル故ニ思ヒメクリスニ此女モトヨリ我ヲ心ニウツネトサスカニ女
方ヨリシカアキタルトモカケケレハワサト啾啼ナトヨク云テ馬頭ニテキラコノ心ニヤト
アラヌイマテモ思ヒメクリスニ定ニ馬頭カ為トテ調シタル衣トモサトノ心切ナルヲ思ハシカモアラシト
カマウニ女ウツキヤウハカサトモ
捨シキトノアツキヤウ

あひ侍りしふ。馬頭ガきき物に取らうも

我をくく思
是夜アマリツレナカリケル故ニ思ヒメクリスニ此女モトヨリ我ヲ心ニウツネトサスカニ女
方ヨリシカアキタルトモカケケレハワサト啾啼ナトヨク云テ馬頭ニテキラコノ心ニヤト
アラヌイマテモ思ヒメクリスニ定ニ馬頭カ為トテ調シタル衣トモサトノ心切ナルヲ思ハシカモアラシト
カマウニ女ウツキヤウハカサトモ
捨シキトノアツキヤウ

あひ侍りしふ。馬頭ガきき物に取らうも

我をくく思
是夜アマリツレナカリケル故ニ思ヒメクリスニ此女モトヨリ我ヲ心ニウツネトサスカニ女
方ヨリシカアキタルトモカケケレハワサト啾啼ナトヨク云テ馬頭ニテキラコノ心ニヤト
アラヌイマテモ思ヒメクリスニ定ニ馬頭カ為トテ調シタル衣トモサトノ心切ナルヲ思ハシカモアラシト
カマウニ女ウツキヤウハカサトモ
捨シキトノアツキヤウ

あひ侍りしふ。馬頭ガきき物に取らうも

我をくく思
是夜アマリツレナカリケル故ニ思ヒメクリスニ此女モトヨリ我ヲ心ニウツネトサスカニ女
方ヨリシカアキタルトモカケケレハワサト啾啼ナトヨク云テ馬頭ニテキラコノ心ニヤト
アラヌイマテモ思ヒメクリスニ定ニ馬頭カ為トテ調シタル衣トモサトノ心切ナルヲ思ハシカモアラシト
カマウニ女ウツキヤウハカサトモ
捨シキトノアツキヤウ

馬込ノアタニキヲ 改テ
あらしめて 方ハ一ウツス
ヤメテニツカニオチ
ツクナイフナリ
のふらふらひあらしむ

あんなあひみまぎさあどひりをもサハヤリ

こも此女衣ハえあひたあれどとあひ泣

が志ハリ 嫌ハリ心ヲ さらさんれふま 女ノ

イフ如ク 女ノイフ如クニシ ありあらしあんなあひみまぎさあどひり

あひみまぎさあどひり 死ニ たりあらしあひ泣

あひ泣 女思ニ死ニウセタルナリ

ほあひきくくあひ泣ニ引もくあひ泣
体ニと伊子も後一拾遺雜賀
あひ泣くそらあひ泣くと泣く 定文

あひ泣くくあひ泣くくあひ泣く
あひ泣くくあひ泣くくあひ泣く

あひ泣くくあひ泣くくあひ泣く
あひ泣くくあひ泣くくあひ泣く

あひ泣くくあひ泣くくあひ泣く
あひ泣くくあひ泣くくあひ泣く

あひ泣くくあひ泣くくあひ泣く
あひ泣くくあひ泣くくあひ泣く

あひ泣くくあひ泣くくあひ泣く
あひ泣くくあひ泣くくあひ泣く

あひ泣くくあひ泣くくあひ泣く
あひ泣くくあひ泣くくあひ泣く

あひ泣くくあひ泣くくあひ泣く
あひ泣くくあひ泣くくあひ泣く

あひ泣くくあひ泣くくあひ泣く
あひ泣くくあひ泣くくあひ泣く

つぎの... ツキ... シクト同じテコノ詞ハ元ト物ノ際目立タラナルヲ愛ニハカケハナシテヨリツキ
カキ方ヲ用ヒタリ故ニ其立田
雁ニモイナメカケハナシスオトラ又ヨ
シ也
もんもつきあうべ
マキヌフ
丹ハ
其サノヲホメハヤシ給フコ
馬頭河心

カトラシト云リハタハハシテ織ニ故ニ
イモカトシテト云リ
シヤ
イハル如ク愁ノ字ノ意ニテタノ方ニテ
イハバ女ニハアマリ何ヲモフロヒテアキ
マクウルサシト物リテホメタムコトバ
ナリサレドウルセク有ゾヤスウカニテヨ
コ之ノ又モウホメシウカサトハエカラ
スコハイト心得カキ討ナレテ細流常
祇等ノ注メ外ニ注セル人ナキハ比ヨク
心得テノコカオツカサシ
千代モカトラヌ
なごきちきりまうこそそあえまらば
アヤカシカシ
ヨルニヤ

テノウチホメタル詞ナリタゞ物産ルカタ
ミラホメタルハアラズニキトイヘムカ
物トイハシタメノ縁ノミニテソノ
家ニそのふた娘のまことハを女ノスベ
テノウチホメタル詞ナリタゞ物産ルカタ
ミラホメタルハアラズニキトイヘムカ
物トイハシタメノ縁ノミニテソノ

何レモタラハカサヒガタシ
そとハ定めぬ
キニタチトモ
つひとや
カシ死世
意ニモ
公カキ
抄本在

テノウチホメタル詞ナリタゞ物産ルカタ
ミラホメタルハアラズニキトイヘムカ
物トイハシタメノ縁ノミニテソノ
家ニそのふた娘のまことハを女ノスベ
テノウチホメタル詞ナリタゞ物産ルカタ
ミラホメタルハアラズニキトイヘムカ
物トイハシタメノ縁ノミニテソノ

何レモタラハカサヒガタシ
そとハ定めぬ
キニタチトモ
つひとや
カシ死世
意ニモ
公カキ
抄本在

何レモタラハカサヒガタシ
そとハ定めぬ
キニタチトモ
つひとや
カシ死世
意ニモ
公カキ
抄本在

何レモタラハカサヒガタシ
そとハ定めぬ
キニタチトモ
つひとや
カシ死世
意ニモ
公カキ
抄本在

何レモタラハカサヒガタシ
そとハ定めぬ
キニタチトモ
つひとや
カシ死世
意ニモ
公カキ
抄本在

何レモタラハカサヒガタシ
そとハ定めぬ
キニタチトモ
つひとや
カシ死世
意ニモ
公カキ
抄本在

つきは... ツキ... シト同シテ... ノ詞ハ元ト物ノ際目立タレナラシメテヨリツキ
カタキ方ニ格ニ用ヒタリ故ニ其立田
雁ニモケナメカケハナシスガトラヌヨ
シ也
もんまのつぎあうらぐべ
タチヌフ
丹ハ...
野... 悉クイヒカハ

カトラシト云リハタハハシテ織モ故ニ...
イハハ女ニハアマリ何るモワロヒテアキ
タクウルサシト物リテオメタムコトバ
ナリサレドウルセク有ザヤスラカニテ
コハイト心得カキ討ルテ細流宗
祇等ノ注メ外ニ注セル人ノナキハ比留ヨク
心得テノコカオアツカサシ
千代モカハラヌ
なぐさちきりま...
アヤカシカシ
中...
ツルニヤ

イハハ女ニハアマリ何るモワロヒテアキ
タクウルサシト物リテオメタムコトバ
ナリサレドウルセク有ザヤスラカニテ
コハイト心得カキ討ルテ細流宗
祇等ノ注メ外ニ注セル人ノナキハ比留ヨク
心得テノコカオアツカサシ
千代モカハラヌ
なぐさちきりま...
アヤカシカシ
中...
ツルニヤ

イハハ女ニハアマリ何るモワロヒテアキ
タクウルサシト物リテオメタムコトバ
ナリサレドウルセク有ザヤスラカニテ
コハイト心得カキ討ルテ細流宗
祇等ノ注メ外ニ注セル人ノナキハ比留ヨク
心得テノコカオアツカサシ
千代モカハラヌ
なぐさちきりま...
アヤカシカシ
中...
ツルニヤ

イハハ女ニハアマリ何るモワロヒテアキ
タクウルサシト物リテオメタムコトバ
ナリサレドウルセク有ザヤスラカニテ
コハイト心得カキ討ルテ細流宗
祇等ノ注メ外ニ注セル人ノナキハ比留ヨク
心得テノコカオアツカサシ
千代モカハラヌ
なぐさちきりま...
アヤカシカシ
中...
ツルニヤ

イハハ女ニハアマリ何るモワロヒテアキ
タクウルサシト物リテオメタムコトバ
ナリサレドウルセク有ザヤスラカニテ
コハイト心得カキ討ルテ細流宗
祇等ノ注メ外ニ注セル人ノナキハ比留ヨク
心得テノコカオアツカサシ
千代モカハラヌ
なぐさちきりま...
アヤカシカシ
中...
ツルニヤ

イハハ女ニハアマリ何るモワロヒテアキ
タクウルサシト物リテオメタムコトバ
ナリサレドウルセク有ザヤスラカニテ
コハイト心得カキ討ルテ細流宗
祇等ノ注メ外ニ注セル人ノナキハ比留ヨク
心得テノコカオアツカサシ
千代モカハラヌ
なぐさちきりま...
アヤカシカシ
中...
ツルニヤ

イハハ女ニハアマリ何るモワロヒテアキ
タクウルサシト物リテオメタムコトバ
ナリサレドウルセク有ザヤスラカニテ
コハイト心得カキ討ルテ細流宗
祇等ノ注メ外ニ注セル人ノナキハ比留ヨク
心得テノコカオアツカサシ
千代モカハラヌ
なぐさちきりま...
アヤカシカシ
中...
ツルニヤ

イハハ女ニハアマリ何るモワロヒテアキ
タクウルサシト物リテオメタムコトバ
ナリサレドウルセク有ザヤスラカニテ
コハイト心得カキ討ルテ細流宗
祇等ノ注メ外ニ注セル人ノナキハ比留ヨク
心得テノコカオアツカサシ
千代モカハラヌ
なぐさちきりま...
アヤカシカシ
中...
ツルニヤ

イハハ女ニハアマリ何るモワロヒテアキ
タクウルサシト物リテオメタムコトバ
ナリサレドウルセク有ザヤスラカニテ
コハイト心得カキ討ルテ細流宗
祇等ノ注メ外ニ注セル人ノナキハ比留ヨク
心得テノコカオアツカサシ
千代モカハラヌ
なぐさちきりま...
アヤカシカシ
中...
ツルニヤ

イハハ女ニハアマリ何るモワロヒテアキ
タクウルサシト物リテオメタムコトバ
ナリサレドウルセク有ザヤスラカニテ
コハイト心得カキ討ルテ細流宗
祇等ノ注メ外ニ注セル人ノナキハ比留ヨク
心得テノコカオアツカサシ
千代モカハラヌ
なぐさちきりま...
アヤカシカシ
中...
ツルニヤ

イハハ女ニハアマリ何るモワロヒテアキ
タクウルサシト物リテオメタムコトバ
ナリサレドウルセク有ザヤスラカニテ
コハイト心得カキ討ルテ細流宗
祇等ノ注メ外ニ注セル人ノナキハ比留ヨク
心得テノコカオアツカサシ
千代モカハラヌ
なぐさちきりま...
アヤカシカシ
中...
ツルニヤ

かゝ世にいとハラス事トスキ女ハ何ヤヒタラハテハアレカレベキワヤナリテサヤウノ女ハ有カタキ世中
ニテ定メカネタリトナリ此所湖月多ク内ナドステノ意ヲ流シテヨリテヒカコト多ク山崎六巻六葉見
人小指リヒシ女ヨリヤサシヤサシヤトナリ心なせよこよ
ゆゑありと見えぬべく人ノ見シニモトニエアル女ト見ユキサナリトシ

ゆゑありと見えぬべく。舟ナドうちよみみ

ナドもありがき。ゴトナド かいひくはまおて

足すもつり作り見ハヨミタル奇キキ
タムナドヲ見ルもツハタラシキキ
此コトヲノワザナドシカラザルサニ
以ガ見望テ年月ヲワタリコトイフ

此も何ものをどうかのと何のべきを
このとつり作り見ハヨミタル奇キキ
方小あれやこのとつり作り見ハヨミタル奇キキ
ヤかの

ろへは作りほぐハこよわく女も心とあり

うらつとま
ル心安キ方
ノヤリ並へ
此女も素性
ハシミ手モ
クロツキ声
モヨキ故申
更ニ取所ナ
ラン女ハ心
とつり作り
クもハルナ
えんよの
故馬頭ノ見

このころの頃の ナリ 指食ノ女を 里住ノ うらつとまの方 シ して ス 此
比 始りかろへ テアヒ 足りり ほ 其女ニ こ よ ゆ 心とあり
作り此 この 人 を せ は ち ハ サ シ メ ト モ つ ハ セ ン ア リ レ ト モ
ゆゑも と 死 ぬ ル ト モ カ ハ ム カ ヒ ア ク テ 木 枯 ノ 女 ノ 許 ハ 志 ハ ツ
ま ウ リ 逢 ハ ル ト モ ツ ハ 心 カ レ ユ キ テ ソ ノ ア タ ク サ マ ノ
見 ル メ モ マ シ ア ル ト モ ソ ハ 耻 カ キ ヤ リ ニ シ レ リ 此 馬 頭 元 来 え ん よ 色 この
ま シ レ ル ハ 老 よ つ ぬ ハ あ る よ 一 其 女 ノ カ リ ケ レ ハ ツ ニ こ ら ハ
の ひ く も そ し ゆ め つ り ぬ ハ あ る よ ヨ リ ニ 此 女 ハ 好 色 メ リ 女 故
を ゆ く 木 枯 ノ 女 ノ え ん よ この す き こ と を
オ シ レ ル ハ 老 よ つ ぬ ハ あ る よ ヨ リ ニ 此 女 ハ 好 色 メ リ 女 故
タ ノ ミ ミ ガ タ キ ニ 遠 シ リ ス ル ニ
む べ く も え え む か ま シ グ ル ヨ リ ニ こ を せ 侍 る
ほ ろ よ 志 の び て 木 枯 ノ 女 ニ ん か を せ ける

所合々
テニ人

カヨハス
通ハ佐行四段活ニ同行下二段ニ
活クコトナシカハハシ延ヌルカ考ヘ

おしめよつりぬハあまよヨリニ此女ハ好色メリ女故
をゆく。木枯ノ女ノえんよこのすきこととを
オシレルハ老よつりぬハあまよヨリニ此女ハ好色メリ女故
タノミミガタキニ遠シリスルニ
むべくもええむかまシグルヨリニこをせ侍る
ほろよ志のびて木枯ノ女ニんかをせける

かゝ世とハミキトスキ女ハ何ヤニタラテハアレハキワヤナリテサヤウノ女ハ有カタキ世中
ニテ定メカネタリトナリ此所湖月ヨリナドステノ巻ヲ流シヨリテヒガコト多シハ橋六巻六第ヲ見シ

人小指リヒシ女ヨリ種姓モヨリトナリ心なせよ

ゆゑありとそそぬべく人ノ見シニコトニエアル女ト見ユキサマナリトシ

ゆゑありとみえぬべく。舟ナド。うちよみみ

ナドをちりがき。コトナド。かいひくはすおとて

名安き方ニ思ヒ。木柵通タル也。サテ此屋十分ノ女ト云ト好色方ス。元女ハ頼。カネトテニ人

此女素性ヨク心ハ先ヨク見エモ。指リヒノ女カ死テ後ハ。死セシハ是モナクテ。死セシハ是モナクテ

此女素性ヨク心ハ先ヨク見エモ。指リヒノ女カ死テ後ハ。死セシハ是モナクテ。死セシハ是モナクテ

Handwritten notes in a cursive script, possibly a transcription or commentary on the adjacent text.

此女素性ヨク心ハ先ヨク見エモ。指リヒノ女カ死テ後ハ。死セシハ是モナクテ。死セシハ是モナクテ

此女素性ヨク心ハ先ヨク見エモ。指リヒノ女カ死テ後ハ。死セシハ是モナクテ。死セシハ是モナクテ

此女素性ヨク心ハ先ヨク見エモ。指リヒノ女カ死テ後ハ。死セシハ是モナクテ。死セシハ是モナクテ

此女素性ヨク心ハ先ヨク見エモ。指リヒノ女カ死テ後ハ。死セシハ是モナクテ。死セシハ是モナクテ

此女素性ヨク心ハ先ヨク見エモ。指リヒノ女カ死テ後ハ。死セシハ是モナクテ。死セシハ是モナクテ

此女素性ヨク心ハ先ヨク見エモ。指リヒノ女カ死テ後ハ。死セシハ是モナクテ。死セシハ是モナクテ

此女素性ヨク心ハ先ヨク見エモ。指リヒノ女カ死テ後ハ。死セシハ是モナクテ。死セシハ是モナクテ

此女素性ヨク心ハ先ヨク見エモ。指リヒノ女カ死テ後ハ。死セシハ是モナクテ。死セシハ是モナクテ

此女素性ヨク心ハ先ヨク見エモ。指リヒノ女カ死テ後ハ。死セシハ是モナクテ。死セシハ是モナクテ

此女素性ヨク心ハ先ヨク見エモ。指リヒノ女カ死テ後ハ。死セシハ是モナクテ。死セシハ是モナクテ

此女素性ヨク心ハ先ヨク見エモ。指リヒノ女カ死テ後ハ。死セシハ是モナクテ。死セシハ是モナクテ

公かよせむ人有り... 馬頭カレハナルトニ又此殿上人ニ達ヒシ様子ナリト云リキヤ...

人ありたり。休む月の此かひ有たや

るかりし夜。大うらよをさのて侍りよ。あ

殿上 来會 車 人きあひて。馬頭このうらよあひのり

て侍れバ。オシ 或は馬頭カレハナルトニ 大納言のあひまわりの侍り

んすすすにこの殿上人のゆえさうごさひ 此殿上人馬頭カレ

東此女ニ通フキニラテラシ 大納言家ニシテ女家モ又カチ 女此れカレ

人あつらんやどなん 家トラントスルニ女家ノ家父 ちトツク語ノハコヒナリ

この人のあやうきんくき... コレハるは木枯女家主... 然ルヲ昔ヨリコレヲ殿上人ノ語...

休む月の此かひ月夜... 夜因内よりあつて

女ノガリトヒテメト思ヒ給 侍りよ 侍りよ 侍りよ

この馬車あつひのうて侍れハ 侍りよ 侍りよ 侍りよ

まうりよまらん 侍りよ 侍りよ 侍りよ

ラテ 此の人のあやうきんくき 侍りよ 侍りよ 侍りよ

とて 侍りよ 侍りよ 侍りよ

家ニユクニハ 侍りよ 侍りよ 侍りよ

アヒ 侍りよ 侍りよ 侍りよ

タニ 侍りよ 侍りよ 侍りよ

馬頭ヨリナカラソヤウヌ見ルニ 侍りよ 侍りよ 侍りよ

心をうらせよ 侍りよ 侍りよ 侍りよ

きらりのゆのこきりゆのふさり 侍りよ 侍りよ 侍りよ

サキニ車ヨリナリテトナニキカハ... スサマヲ馬頭アトヨリユキテカイ...

見んヨシ也 此男イタクスロキ 侍りよ 侍りよ 侍りよ

侍りよ 侍りよ 侍りよ

公がもしもせよ人ありき... 馬頭カレシタルト又此殿上人ニ達ヒシ様子ナリト云リキヤコトハ今馬頭

人ありたり。殊な目の此をひ有たや

あや... 馬頭カレシタルト又此殿上人ニ達ヒシ様子ナリト云リキヤコトハ今馬頭
[Handwritten text with many boxed words and symbols, including 'Hankyoku' and 'Dunhuang']

心得タル人ノおチの改メタルカメのト誤リタルカラ殿上人ノ語ト心得タルニモ有ベシモコレヲ
殿上人ノ語トスル時ハ下ニモトヨリサレハカハセルマ有ケトイヘンコトカヘリを改メ待マド
トアルト初ニイヒタラフハ心カハセルモ
ヨリノイナシバヤアリケニド疑フ
ベクモアラスモウコト殿上人ノ語ニハ
トテトイフ様モ下ニカヘリ所ナシカモ
サキニハ殿上人ノ語ト心得テトテ下ニ
ソナタガニ物スルニドイフ詞ノ意
カト思(リー)ナホヨク考フシバトニカク
ニ殿上人ノ語ニハカハス馬頭ガ語テ
トテハ下ノ下リ侍リヌカシトイフハ心
辞ナリ殿上人ニモトイヒテ車ヨリオ
ルハサレバ此語ハサスガニトイフ下
ツレテ心得ベシトハナリ今此
説ヒカト也コハ殿上人ガ馬頭ヨリ
サキニ車ヨリナリテ下ニカハ
スサマシ馬頭アトヨリユキニカイ
見んヨシ也即此男イタクスロキ
かけて。心
トット

テト云又ニクナルヲモテラテトアルト

シ思フシ此條又ハナハシメヨリ鮮サ十月ノ比ノケシキ

マクハシカラス心得タカヒタルヨシトモノクウツ

ルシ今ニ葉ノ神無月ノ比ホヒト云

元ナリハカハセザルヤ此殿上人ノ

木枯ニ通ヒタルニヤト馬頭初テ此由

知リタル故テヤウカフ由也

催馬樂飛鳥井ヤトリハスシカケモヨシ

ミテモ莫クシニカキモヨシ

散乱

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

テト云

シ思フ

マクハシ

ルシ今

元ナリ

木枯ニ

知リタ

催馬樂

ミテモ

カゲも

カゲも

カゲも

カゲも

カゲも

カゲも

カゲも

カゲも

カゲも

カゲも

カゲも

カゲも

カゲも

カゲも

テト云又ニクナルヲモテラテトアルト

シ思フシ此條又ハナハシメヨリ鮮サ十月ノ比ノケシキ

マクハシカラス心得タカヒタルヨシトモノクウツ

ルシ今ニ葉ノ神無月ノ比ホヒト云

元ナリハカハセザルヤ此殿上人ノ

木枯ニ通ヒタルニヤト馬頭初テ此由

知リタル故テヤウカフ由也

催馬樂飛鳥井ヤトリハスシカケモヨシ

ミテモ莫クシニカキモヨシ

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

テト云又ニクナルヲモテラテトアルト

シ思フシ此條又ハナハシメヨリ鮮サ十月ノ比ノケシキ

マクハシカラス心得タカヒタルヨシトモノクウツ

ルシ今ニ葉ノ神無月ノ比ホヒト云

元ナリハカハセザルヤ此殿上人ノ

木枯ニ通ヒタルニヤト馬頭初テ此由

知リタル故テヤウカフ由也

催馬樂飛鳥井ヤトリハスシカケモヨシ

ミテモ莫クシニカキモヨシ

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

カゲもす 吹なほし。

テト云

シ思フ

マクハシ

ルシ今

元ナリ

木枯ニ

知リタ

催馬樂

ミテモ

カゲも

カゲも

カゲも

カゲも

カゲも

カゲも

カゲも

カゲも

カゲも

カゲも

カゲも

カゲも

カゲも

カゲも

コトスルヲナドニラレテクノ時ニアタリニウラ
クナラシト思フマウリ意ニテク、モフニ合ハル
為ニサシトイハル、ウラクナラレテ、ネタリ思フ
サテ、ネタスバサヤウニネタリ思ハスルヲイフ
。今一琴、ウケヤル、(き)人、ハ、上、自、外、ア、ラ、
1也ツレキ人ハキカストモ外、開、ハ、ス、キ
ワレ、ア、レ、ハ、此、時、ニ、ウ、ラ、ノ、ノ、引、テ、キ、カ、セ
給(ト也)アテ、ス、リ、ノ、詞、面、白、シ

殿上人

細
只ナラヌ

琴
こと此祓を月もえなむぬ宿なきる歌ヨリ

引トル、ハ、ア、タ、ハ、サ、ル、ニ、サ、ル
ツ、吾、コ、ヲ、斯、ハ、ト、ヒ、ツ、レ、ト、ナ、リ

エ引トメ給ハヌ
細
引、ワ、レ、キ、ト、
見、あ、つ、め、り、な、ど、ひ、き、
誰、ゾ

い、ま、ひ、と、こ、ろ、急、げ、な、ま、さ、き、人、の、あ、る、時

子。琴ノ
い、ま、な、れ、に、給、そ、あ、ど、
エ、サ、レ、シ、
此、殿、上、人、ハ、女、ヲ、得、タ、ル、上、ノ、タ、ム、シ、

お、ま、さ、バ、女、の、こ、こ、急、げ、な、ま、さ、き、
合
ス、メ、ノ、約、セ、
此、殿、上、人、ハ、女、ヲ、得、タ、ル、上、ノ、タ、ム、シ、

木、枯、女
木、枯、
合
セ、ル、
此、殿、上、人、ハ、女、ヲ、得、タ、ル、上、ノ、タ、ム、シ、

故トッメカトシトヨメル面白キ哥ナリ
前、哥、別、待、人、モ、アル、ヲ、ヨ、メル、ヲ、此、歌、ハ、ツ、レ、キ、人、ヲ、上、人、ニ、サ、シ、テ、ヨ、メ、リ、木、枯、
我、ハ、引、ト、メ、シ、ト、ハ、モ、ナ、シ、ト、エ、テ、木、カ、ラ、レ、フ、キ、合、ス、ト、エ、テ、琴、言、ノ、葉、ト、カ、ケ、テ、葉、ハ、木、枯、
千、九、物

を、ひ、き、と、む、べ、き、こ、の、急、げ、な、ま、さ、き、と、れ
十、ワ、ス、ル

お、ま、さ、か、と、ま、さ、き、。馬、頭、心、
よ、く、あ、る、な、ま、さ、き、

ら、ど、又、
盤、洗、調、ハ、冬、ノ、シ、ラ、エ、ナ、シ、バ、ヨ、リ
和、琴、ヲ、サ、キ、琴、カ、
冬、ノ、シ、ラ、エ、ナ、リ

べ、て、今、め、の、か、ひ、き、と、つ、り、お、ど、
一、カ、ド、ナ、キ、ニ、ハ

あ、ま、よ、め、あ、な、ど、
氣、ノ、毒、ヤ、ウ、ノ

志、傳、り、し、ら、ど、
前、ホ、道、ノ、イ、サ、ト、ラ、シ、コ、ト、ク、大、方、モ、ト、実、ニ、用、ニ、キ、ト、ノ
何、ノ、モ、
ワ、タ、ル、シ

人、あ、ま、あ、く、ま、さ、き、
エ、レ、テ、好、色、メ、キ、タ、ル、シ

ゆゑ、あ、ま、さ、き、上、ま、さ、き、に、お、ど、

さくもるおきりいなるもあひぬ。

あふき所なくシカシテ有キ所トシテ
ヨシヤアツクアツてもあはる所よ
永ニ世ヲツレフハヒト也
フシハ也

よん
トセシテ三ノもキ世ノタノミハナラヌ
又ヨセスカニ
其夜のこふ言解て彼大ト弘
ヨミカハシタ夜ノコトツイヒテ夫ヲシホ
ニ中絶タリト也

はれぬもどがとあふ後へんよハたれ
出スギタリトイフオドノ心
げちりさささいりりおうれそ

お乃そふ
カコトイフ同ジ
のそ女ノキギリハ

通シヤミシ
指クヒ女ト木柵ノ女ト
は

あつらふこと
成ねのあふる子
馬頭
見り

あつらふこと
成ねのあふる子
馬頭
見り

あつらふこと
成ねのあふる子
馬頭
見り

あつらふこと
成ねのあふる子
馬頭
見り

あつらふこと
成ねのあふる子
馬頭
見り

あつらふこと
成ねのあふる子
馬頭
見り

あつらふこと
成ねのあふる子
馬頭
見り

あつらふこと
成ねのあふる子
馬頭
見り

あつらふこと
成ねのあふる子
馬頭
見り

あつらふこと
成ねのあふる子
馬頭
見り

あつらふこと
成ねのあふる子
馬頭
見り

あつらふこと
成ねのあふる子
馬頭
見り

あつらふこと
成ねのあふる子
馬頭
見り

今源氏十七歳ナレハ七歳ハカリ過テ十ノ上ヲ起タマハ思
ヒリ給フヘシトナリ今モ年ヲ以テ云フ常々多カリ
くおぼさるめ。今さりとて七とせあすりれ

ほごよおがりあう侍をんずりかかや
馬頭カ後キ諫言ヲ聞クニ

きいずあまてすきたとめらん女よんぬりせ
五色ニキキ侍

路。女アルニキキ侍ニ
あやまちーてアヒ 又

好色ノ方ハタワヨシノ女ヲ云
あやまちあまみん人の或抄アヤ
ナシトハ女ノアルニキキ侍ニ
取見ニ人ノ名ヲモツツキ物ハ
うるわしく入テ聞キタルコシツツ
ハ齋衛ニテ心得

ん人のか。頑愚
て古
男ノ名サハ
テ世ニワラハ
ルト也

そのありとむ。申將まのうあづく。
禁

源氏ノ 君とさう
わエハハシ。むとオカシメス
か。急きてあるうくわ
半笑ニテ少シウキワラフサ也

中なるおかりとあれもの。是馬頭カ咄シク聞テ中將モ又オトラシト語也サシト中將ハタマ
昔有シテ今ノ俗ニウケサスルニテ若キオトハ皆ニカリ馬頭ノ心ヲフクメテ語り論ニタ
トハタカヘリシレモノハ義訓ニテ

思はべうめし。源氏ノ君ノ冬
イツシニテモナリ
いつかさつきても。

人よりくげし源氏君カヤウ
ウチトケタ物語ハシメテオハスシキ
コトハ咄シ人悪クハシキ心ニタマフモ
トワリ也中將ヨリイサカ人出トリタ
ワカシタリ
おハスサ延タリ

人のびてみそめうしし人れさても又
我氣ニ人ニ板子ナリカバ

つべかりしはらひるあうバ。行スエカケテ
なが

製集キトテハハシ
サシト行キ遠クトテハ思ハサリ也
らふまのこも思ひし

早下シテカクハヘん
ナリカノ性オロカニテ癡ナル方アル人
トアルハ遠ヘリ

どなれりぢりあをれとおぼえ〜うば。

うえ〜
通ヒタん趣ナリ
おぼれぬものよ思ふ路へ

〜
サアドマデニナリタレバ
おぼれぬものよ思ふ路へ

めるり〜もみえき。ワレヲたのむよつぎ

てハ。ワガタエ〜ナンヲ女ハ
う〜め〜と思ふこと

もあらんと。ワガ
ふあ〜うにほゆるをり〜

侍を。
此女ハ絶〜ナンヲモ
此女恨ム〜キヨモ何事ヲモシラヌ
ス志〜ぬやう〜

タノミツキテハ恨ム〜キヲモアル〜キニ絶〜
フシモ見エゴシ也

〜
人ノヤウ〜心ウシトモ絶〜通フナ心ウシトモ
共ニ住シ人ノ如クスル心ウシトモ思ハル心ク
捨ル心ハナク頼ミ〜モ思フコトモア
リシヨシ也
日ヲ頼ム意アリ

人よ。
此女ハ
おひき〜
た〜
おぼれぬものよ思ふ路へ

〜
つ〜
あ〜
おぼれぬものよ思ふ路へ

〜
心ハ恨メシク思ヒナガラウ〜
サハ故ニ心グンシキナリ

ワレモステガタリ行キカケたのめつ〜
イヒ

あ〜
お〜
おぼれぬものよ思ふ路へ

夕顔ノ心今ハ親モナク心ホツキ折中將ノ通ニ
今ハ此人ヲ頼ミニト思ヒナガラウ〜
中將ヲサス

おのれもや好みし〜してオタカバオタヤカニテ也ウラミセス心ノトカナル故ニウレロマス
ケレハ久シク聞サルホトニ本基ノ右大臣殿ノ女ノ方ヨリ物ノタヨリサレノノイヒヤリ
ト申将ハ後ニ聞シト也又鳥ノ物 おも〜
オナスル姓ヲ出イタセリ

ミセス
のどなきふお〜してひさ〜は

のらぶら〜
以中將ノ北方右大臣及ノ四君
ウレロミレ給フル方トイフ心

さ〜ありあ〜て々教ノカム〜任アテ
四君ヨリオドシタレシ

よ〜ありて。オタカニ
かよめい〜せ〜りん
る。そ〜ハ中將ノカ
れちみこそ〜侍〜

〜き〜や四ノ君ヨリ情ナ
クウキ〜イヒヤリレハシラネ也
〜き〜を 女ノ心
あ〜んとも〜ん

ひもやふ〜ひ〜あ〜ま〜
ハ聞ス本妻ノ四ノ君ヨリハオソロシキヲトイハシテセシカタナク又オコセタルヨシ也

ワ
ふよハ〜れむ〜せうそこ〜

せ〜ひ〜
ツノ女 女ノ心
む〜子思

ひ志不きてんおそか〜
をされき〜のな〜あり〜にツノ女 思ひ

さ〜其ゆみの約々〜
氏ノ詞也カ〜
ニテモ人心ハミ〜
覚シテトヒ給シナリ申将モ又〜
心〜トカリキ〜
出ヌ也今ハ夕顔ノ行〜
サナキ人ノ事ト思速懐ノ詞也

〜ひて〜
タユテ君トハセテ語り出タル今世カ〜
〜とて。〜
〜

〜
〜
〜

あつちろるもねりやとさや 徳氏君ノ
コトモナカリシヨトシ多み
尤サモアルキ人情ナリ

哥 我身ハアレハテハカナクトモ其

山カツノモトニアルナテニコハ折ハ
ハシラカケ給ヘト云テテカキヨセタリ
此哥上句ニテ夕鳥ノ身ヲ隠スニキ
下カヘアリサシトアルヘシトモ思ハ
ネハタノ卑下ノ詞トノミ覺エテ心
ツカサリシヨシ也

中將
さやうらゝあるこゝもなごるをきや
ケリヨ。

夕歌
山うらたかき不あるともをりくよあこ

此ハかけよなごる子れ落。をオトツシをオウ
お

おひ出た。女ノモトへあつちろる一バ女ハ

イツモノ如ク心モナキ物カラシ
例乃ううをあるもはうう。いと物思ひ

がほもくあれさるはれは落しなきを

あぢめて。出れ跡にきわつるけきむ。_{昔物}

イト物思ヒカオミト云ニ虫ノネヲ合セタリ下ニミタナサ
モラシオトニテモヲナト比目コノヒキナリ

夕鳥ノ心モテ陶テサテモナク恨タ
其モ見ヨシ

リノ多ふきやくる虫ノナクニオトス
キオヒテ物思フケニキ。湖月ニキオヒ
モヨサナルサマナリトイハルハタガナリ

暎すし花を 暎交トハ秋ノ草
ノ色ニナンモアシト其中ニモ床夏ニシク
花ハナシト床ニシクトカケテトモ不床
夏ニシク花不シテスル床ノ此女及
ワ花ハナシトナリ

語大キテ文ニモアルベキサマト岩ハん
り物語めきく物思へ傳り

暎すし 秋ノ花ハイツラいつま」とモ わ
中將

うのこともなごるイモト家又ニ床ニイカケタリ
どこなるつよ。志くもあそ

あぢとねがー 子を思ひま宗祇に
カカツラハ家の子ナレバサシオキテトイハるあき。やまごなごることをばやくおきてま

ヒカゴトシを心ハナシタゞ子ヲバサシオキナリ
ナテレコハ此子ニヨクテイハルニ子モ
ラウタケシト先久シク絶タル故母

親ノ心ヲトントナリ。ナリヨタニスエシトツ思フ暎シヨリ妹ト我又ル床夏ハナシ此ナリ
うららちとらよま 例ノ鳥ヒカゴト
中將ヲマツトテ床 うららちらふ。絶テキマセタ故。袖

ウナハラヒクスシトモモ後フカキ如ク
ナミタノカワク間モナキ床夏ハ家
早夏過テ人ニアキラルト云各ノ
秋ノキタルナリケリト云テ下ニハ
をさるなきここ交ああし吹そふ秋も

右大臣ノ四ノ君ヨリ荒ノハケニ
ク吹来ニ故ウチハラヒクスル神
ノツユケシト云々意ナリト云リ
ひふ列ノ稀小蓬夜の本
夏もくちけくともつゆ
おそけり

給フカラ夜床ノアシニキタトフ
きよはらけと。そなたをうけよ。あつひひなりて。

実ラシク
まあ〜〜〜恨〜〜〜あ〜〜〜ええん。サレド
シヒエリテ 涙を〜〜〜あ〜〜〜ても。

じ〜〜〜あ〜〜〜ん。

か〜〜〜。男〜〜〜きをを。女ノ思ひ〜〜〜

乃〜〜〜。男ノカニ。ええん。〜〜〜。毎理〜〜〜

き〜〜〜。女ノ思ひ〜〜〜。色〜〜〜サヌヲ

了此をもよひきり〜〜〜中めノ
トタエノツラキヲ思ヒシリタルサマニテ
ラサ〜〜〜ト思フ女ノ性ナリ

さけらふ流離トトノ字ヲアテタリウカシタハヨフテヨルキ心ナリ流人トトツサス人ト云其意
思らり〜〜〜小思ひ〜〜〜本ヨリ此女中將ノト絶トトヲウツラハシケニ思纏サマナラハ絶スカヨヒ
テカ〜〜〜ヤ〜〜〜チ〜〜〜モナク長ク見エシモノナリ也

男ノカタニハオノツカラタユミ、んや〜〜〜てヌと
カヨハヌ

ふ〜〜〜。女ハ物もた〜〜〜こそ
名消ヤリト心し

かきけちて〜〜〜。女世〜〜〜。生テアラバ

〜〜〜。オシガ〜〜〜。あをれ

と思ひ〜〜〜。女ヒタスラ〜〜〜。コ〜〜〜

げ〜〜〜。き〜〜〜。え〜〜〜。か

く〜〜〜。あ〜〜〜。こ〜〜〜。ぶ

か〜〜〜。是四ノ君ヲオナハリテタ島姓也

大被討ニ持佐須良比矢 武年

後叙云々〜〜〜。ハ
行リカモ〜〜〜。セヒ玉也

和歌或辨り〜〜〜。身〜〜〜。わ

教ヲ〜〜〜。キ

カウ〜〜〜。ハサス〜〜〜

別叙ヤリ

かのゆくーの此女後玉影トテ源氏ノ子トシテ養ヘリ

之おくれ 中巻ナラストモ ありそのまゝなりて。るが

くアヒ なるやうも侍りあま。かのなりで むカツラ

しこはらう。侍り。 何事ドツツニテトテ意 いて。ふね

んとおひめあふ成今子之こそアリカラサ

つを侍る。これこそは路ひつる。エニモノ公ナ

ニテ。ウラミイフキコトヲモ見シラヌサマニシノビテナド

たぐれまため。なめれ。はまなきて。

ふねをそは路つる馬頭前ニ云々ニ
物ハナシテ恨ミイフキコトヲモ見シラヌ
サマニ思ヒテナトアリシヲ受テセ
つねめては。色ニハ見セヌ
ニテ此女ノ中将ツツラニト思フヲシラテ
此方ニテハアハシト思ヒタムモ今センナイハ
キに思ヒナリトノ意ナルヘシ

今や。余ヤリ。急行ホトナシト此方ニテワスレヌ又シタ顔ノ方ニテモ折ハオモヒイテハムネヲコカス
メハモアルヘシトナリ モ女ノ。アハシト思ヒタムモ今センナイハ。キに思ヒナリトノ意ナルヘシ

人ヤリ。今集。人ヤリ。 無益 かくなきか

と仰いて。今屋う。 無益 かくなきか

人ノイヒ付ヤ。 無益 かくなきか

きき。 無益 かくなきか

え。 無益 かくなきか

え。 無益 かくなきか

ん。 無益 かくなきか

人心カラシ。 無益 かくなきか

人ヤリ。 無益 かくなきか

ん。 無益 かくなきか

されをのみさくぬものさきさびりありぬべしあれこそ又多か語トイフ説ト申す語トイフ説ト
イツシモスガタキトコロ有テサダカキキキ多ク河ノ髪流るノイハクコシヨリ下ノ皆ワラヒ給ヒヌト
イフテハハツるハイフヨリハシテテ中カ
ノ詞モ有リ上ハ問答ヲ分テキキ
テハ二人ノ語ヲヒトツニキタヌ物サテ

皆ワラヒヌトイフ蓋テハ源氏ヲモホネもの思ひいであるかおこりれがさけハ
タリトアル説ヨロシシトリテナホス
ノ語ヲ分テイハシバカイトイフヨリ
アリキマトイフテハハシバカイトイフヨリ
中ノ語ハハる以テカノ女ヲサガナ

モトハイフマヅリワスシガタケレド、
イフモ人ノコトハハシエザシバハ有テ
ノヤハヨノ意ハ次ニ整テキキヨリ
ウタガヒツフケレバトイフテハ中ノ
語トキコエタリヌメリケハるハガ
物語ヲキテイハヤウニシエコノ心ニキキ

トイフハカノガウノ事ヲイフヤウニシ
コレバナリサテイツレトトヒトイフヨリ
ハる以トモスベケレド上ヨリ内ツキタレ
サレドナホ中ヲトセシモアシカラフジ

カノサナモトヲヨリ馬頭カ言ト云ハアラス
ツカハシヤスルト疑ヒナリトイ
くべらるコトヲトテ見テモカレテ
トイテ見テモトカレニ難アリテ必ク
カチヒガタキ意

名祥天女 靈異記 聖武天皇御世
信濃國ノウバノクガ和泉國ノ血
上山寺ナル吉祥天女ノ像ニ座リ名
ツカケテシテ見ユ又獲衣物
語ニマカレハト人ナカリツル物
イカバカリナシ吉祥天女ナラム
ほろげづき 浮世中納言物色カウケ
ナトアマタカサネテウキヤツシ給
シヤウケキメラシヨリモナメカ
ホゲツキタフトゲニナリテマ

。法氣附也 法氣附くは
異六様ニテらんト心得キナリ

カチキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ

ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ

ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ

ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ

ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ

ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ

ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ

ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ

ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ

ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ

ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ

ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ

ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ
ハカキアトモコトノ大事ヲモイハセタレシキナカラト云ル思イテ

されをのりぬものさきさびしかりぬあれこそ又言が語トイフ説ト中物ノ語トイフ説ト
イツシモステガタキトコロ有テサダガタキナ多クハコシヨリ下ノ階ワラヒ給ヒ又ト
イフマテハツるハイフヨリハシテ其物カ好リなる。されバカノ 指クヒノ女ハ分る
ノ詞モ有リ上ハ階名ヲ分テモコ、馬頭ノ語ナリ

テハ二人ノ語ヲヒトツニキタヌおんサテ
皆ワラヒ又トイフ至テハ原氏ヲモホネもの思ひいであるか。おひとれがアルトナリ

タリトアル説ヨロシシトリテナシ
ノ語ヲ分テイハシバカノイフヨリ
アリナマトイフマテハ分る故ハ
中物ノ語ハ分る対ヒテカノ女ヲサガナ
モノトハイフマシワスシガタケレド、
イフモノノコトハ、望エザシバ有ナ
ノヤハヨノ意、次ニ登リ昔モヨリ
ウタガヒフケレバトイフマテハ中物ノ
語トキコエタリ、ス、メリケハ分るガ
物語ヲキ、テイハヤウシ望エコトハ分る

トイフハオノガウノ事、ナリイフマテハ
イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故

イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故

イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故

イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故

イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故

イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故

イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故

イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故

イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故

イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故

イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故

イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故

イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故

イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故

イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故
イフベキコトモイハ又故

そまハあるまらざるを^{博士}に^許がくもんな

とく^{博士}とて^幕まうりかひ^ほお

リ^{博士}あまのむすめどもおちうりとき

後^三て。さうなま^三つひでよひよる^三侍

を。おやま^{幸ノコトニユルニテ}つきて^{さうづ}

き^{難言}のてゆ^{難言}。家^{難言}あ^{難言}る^{難言}れ^{難言}さ^{難言}う^{難言}ふ^{難言}あ^{難言}ん

少^{難言}らん^{難言}き^{難言}ま^{難言}え^{難言}ら^{難言}侍^{難言}く^{難言}。お^{難言}す^{難言}ら^{難言}フ^{難言}侍^{難言}

よりあ^三り^三の^三道^三白^三氏^三文^三集^三泰^三中^三吟^三
云主人^三令^三良^三娼^三置^三酒^三滿^三玉^三座^三四^三座^三
且^三勿^三飲^三聽^三我^三歌^三兩^三道^三富^三家^三女^三易^三
嫁^三嫁^三早^三輕^三其^三夫^三貧^三家^三女^三難^三
嫁^三嫁^三晚^三孝^三於^三姑^三コ^三如^三ク
此ハカセハ貧^三家^三ナレバムスメ^三ハ夫^三
ニモシウトモヨクツカヘ^三侍^三ン^三ベキト^三

家ノコト

ナレバを^三よ^三く^三ふ^三ら^三さ^三け^三ら^三ま^三

く^三べ^三お^三の^三ね^三や^三乃^三ん^三を^三も^三わ^三り^三て^三さ

すが^三お^三わ^三づ^三ひ^三侍^三わ^三ら^三よ^三。も^三女^三ア^三レ^三ガ^三シ^三ラ

い^三ま^三あ^三り^三ね^三お^三ひ^三う^三ら^三み^三。侍^三ま^三あ

れ^三か^三し^三ひ^三あ^三。も^三女^三ア^三レ^三ガ^三シ^三ラ

あ^三や^三け^三ふ^三う^三あ^三ま^三ら^三ま^三さ^三う^三ら^三に

事^三を^三そ^三う^三。も^三女^三ア^三レ^三ガ^三シ^三ラ^三オ^三ツ^三レ^三ノ

い^三ま^三あ^三り^三ね^三お^三ひ^三う^三ら^三み^三。侍^三ま^三あ
名^三ノ^三ミ^三ニ^三ホ^三ン^三サ^三イ^三フ^三ン

腰折テ玉屑ハヨキ折腰躰トテ能詩

ノ体ナリト云トコハヤシクメヨヒ文詩文ニモ

ノトナリ哥四句カ入折腰折ト云ト云コボみ

モアラヌメハ今云メコヒテ釘ノ

キカ又詩ト云コト也哥ニ云七回シ

〜〜〜〜〜道理ヲいひま〜〜〜ゆるよお

ヒカサレテ中モ絶ラレズニ
のづ〜〜えはわりのたえで。それをもを

ゆ〜ゆれゆ々ヨニフミトイフハ詩ノ下ニ
作文トイフモ詩ノ下ニヨシテハラガニ

師〜〜〜〜〜てあん。ま〜〜〜〜をぬぶ

ヨ折トイフヨリイハ〜〜〜紫日
記ニヨシハナレヌバカリ折カ〜〜

ゆ〜〜〜〜〜あ〜〜〜ひゆ〜〜。今よ

そのを〜〜〜〜〜れゆ〜〜〜。な〜〜

イ〜〜古今集ノ歌ニ世ハナイトフ
山〜〜草木トヤ〜〜トヨメ〜〜

〜〜〜〜〜ちたのすんよ〜〜〜のひと

トコロ得々

昭陽〜〜終らんナマハナメ人ワロクトア〜〜
遠鏡頭書云義〜〜心燈の書云ふぬきてを〜
シ一笑ニ用フ〜〜和洛トモニソノ例々々
ニツテ下ラズ此意ヲ云々〜〜カ
ナリ又此書ゴ子モ書ノコト

〜〜〜〜〜くなん〜〜〜て君よ〜〜
め〜〜〜も〜〜〜き〜〜
〜〜〜〜〜サヤリ〜〜
〜〜〜〜〜色々々〜〜

〜〜〜〜〜を〜〜〜
下〜〜女ハサ〜〜学問ナドハナク〜〜
ソハ上〜〜ハカ〜〜シクシタカ〜〜
イハ〜〜ニテ然聞ユ

〜〜〜〜〜ト男
〜〜〜〜〜宿世ノ契
〜〜〜〜〜イニ〜〜
ひく〜〜ゆめれ〜〜
〜〜〜〜〜女ハサ〜〜学問ナドハナク〜〜

をのみゝも恥んをさしめきむを飾りぬる子細キトウコト心得か々キナユリソツキノ趣ナ
モテ考ん何ノ一フシモナキヨシニノコノ人学問
ナドナキヲイフシサテスベテノ意ハ世中ハ
男ヲアラ学問ナキ者ハ侍人トイヘンニテシ

をのこーしをなんー素
素也 一フシモナキイ
素也

テ女ハ学問ナキトモナテコトガアノハ飾りぬると申セバ。のこるをいせん
ナリ。何れありをいせん御ちかたり。あハ 帚木 左六郎 老きハ
小藩云能優メキタル顔ヲシテ也トイヘン其意カ総角ニ
さうふをいん先きてつくり出するものか其いん又初
子いんをいんみいんわいんは 此をいんをいんいん

あしふくしうと解く。ナトナル考(合ス)近來
ノ疑ニ動カス也半ト宇ト通ストアルハ他ノ條ニ帽ハヌタニ詞ニ
笑ヒシコニスタル体也トイヘンモイカアラシカウ。梅ニ俗ニ自
スルヲ鼻ヲ高クスルト云ハ人ニテ君タナヘメウヤサシテ光
自込スル自只ニヤアラシ

すり
兼

心者富
メキ
心

常のうちにこそ是ハ不斷ツキ
トケテ向ヒナレヌ所ニナリテ終
ナク物ヲ(メテ)アヒタルナリ
故ニモノコレニテ對面スルハ心ヤ
ミシト云オトノ詞也
又ガ此ノ詞ノ或部下ニ此
女ハ心モトニラスアメリコトノレクシ
タカナル故モシ先ノ恨ムコトモアシハ
コキフシナシハ夫ヲカコトニ中絶セ
ント思ヒ申シカハレシク物怨シ
ナトスヘキ性ニモアラスト也
聲もけやうかあて是モヒルキヒ
ニ故ハヤク物ヲシテカカリ
アラヤウニト心ツカシテ云サマナ
カライヤシキ趣キニトリナシ

ばづぬのちとけわくるあまきついでん
イッモノ
物ヲ隔テ
細久シクカラサリニ故
カトヤフ
下思フアリテ上ハキトアラシ
ヌヤウクニ用ユ
て侍。久シクカラサリ故ワシ
コシラカコツケ中タユル
ヨクニ
ワガトヌク
モトヨリ道理ニ違
世の及理

をのちもせんなき物も飾るゝ子細キトイフコト心得ガタキナヨリソツキノ趣ヲ
 モテ考ルニ何ノ一フシモナキヨシニノコノハ学園
 ナドナキヲイフシサテスベテノ意ハ世中ハ
 男ニテスラ学園ナキ者ハ侍人トイへんニシテ
 テ女ハ学園ナキトモナテフコトガアノハ飾めるトヤセバのころとをいへせん
 ラレノ意ナリノ話説比附子細トイフコトニ
 冠ミテ大方ノ意ニカサハズ
 をのこーとをちゃん
 フシキイナキを

を飾るゝ子細キトイフコト心得ガタキナヨリソツキノ趣ヲ
 モテ考ルニ何ノ一フシモナキヨシニノコノハ学園
 ナドナキヲイフシサテスベテノ意ハ世中ハ
 男ニテスラ学園ナキ者ハ侍人トイへんニシテ
 テ女ハ学園ナキトモナテフコトガアノハ飾めるトヤセバのころとをいへせん
 ラレノ意ナリノ話説比附子細トイフコトニ
 冠ミテ大方ノ意ニカサハズ
 をのこーとをちゃん
 フシキイナキを

富強長尾、末孫善敬樂合人大吠嗚呼
 者也。はニカキヲコトシタムサニトイハコトナリコトモシテ留んモワロシ
 ナリトイフコトナリコトモシテ留んモワロシ
 ナリトイフコトナリコトモシテ留んモワロシ
 ナリトイフコトナリコトモシテ留んモワロシ

心も元飾りカヒヤラカサントハ思ナカラス
 なる。拍式帯のひきくも女モトハ
 拍わ
 心得ヲノバタ
 心付ヲノバタ

ずらひゆハハスカリ給フニテ式カカ言
 兼ニスカリテ相繼テウチ給フナリ馬頭所ニイヒハヤシ給フト有ト同シ
 拍のたよりよさらすまで飾き
 拍のたよりよさらすまで飾き
 拍のたよりよさらすまで飾き

白雲の巻

常の
 トク
 ナリ
 故
 マ
 スト
 ナトス
 聲
 シ故
 アラ
 カラ
 然
 世
 理

白雲の巻
 常の
 トク
 ナリ
 故
 マ
 スト
 ナトス
 聲
 シ故
 アラ
 カラ
 然
 世
 理

少く流りのささやをみる
タル女ヲイミシクムクツケキイニヒ
オトシタルヲ思フ

ニタル女ナシバニ
哉思ひとりてうらみさうりたる。何故ナラシト必

フニ此女 こそ思もたやうわさるゝあやう月ご

別荘アリ 腹痛風病ニ説ウナ
ろふびやうたのきまたくうぬて。極熱

風病ノカタヨロシカハニ春記ニ長
別荘アリ 草葉服
曆四年四月十四日今日始
ちのささやをふくしてくささる

服ニ進草ニ依風病也トアリサテ
サフビヤリゴクネナノサウヤリヤウシ
エ西目カ、ラヌシ
可然 雑事等 何ヲニテモウケタマハラン
ラナド女ノイフベキ詞ニアラホルナ
此女ハスベテセウワコ文ニモカシナリ
らぐとも。ささやうらみさうりたる。何故ナラシト必

イフモノカキマセズトイハルタケヒニ
テ常ノ物イヒモコハクシクサカシニシヨリ夫婦ト申ウケケタケ先物イヒテアラヌリスニ此女
ダチタルサマヲコトサラニカリルん此物語スベテホウシノ詞儒者詞ナドオクソウ心バ(コトナリツク)

カモトヨリ立当ラシキ故ウケタマ
ハリヌトテ立当ル故女モアマリハ
エナクサウシキ心地スル故女又
此香ウセナシ時云トハ云ルナリ

何れかたを思はれ侍らん 赤ラ服ニタルヲイトウタテ心ツキナクオモハシテ何トモ
イラフベキ詞モナキナリ

侍らん 式教
侍らん 式教
侍らん 式教

侍らん 式教
侍らん 式教
侍らん 式教

侍らん 式教
侍らん 式教
侍らん 式教

侍らん 式教
侍らん 式教
侍らん 式教

侍らん 式教
侍らん 式教
侍らん 式教

侍らん 式教
侍らん 式教
侍らん 式教

侍らん 式教
侍らん 式教
侍らん 式教

侍らん 式教
侍らん 式教
侍らん 式教

腹キ人十ト常ニイフ教オイラカトイフニアメルル詞
 夫ハ女ト向タルハアラレイウクサヤウ
 ナル女ナルキ女ハアラレカアカ鬼
 ト心ニツカニ向ヒキタルヤリト也

駐シムルヨリ
 此を以て

あゝの 何海 淡トアムヨロシ淡シ
 いんかゝる。武アをあらたみ

トスニテウトミニクムイフ詞
 て。せう。よろ。おん。とをヤセ

ヤウノ心ナドイハルハカコトニ多々
 世め路。後天教。めづ。き。ハ

あき。め。が。ら。き。の。は。き。こ。し。て
 さ。ひ。ひ。なん。や。て。馬頭ガイハク

ヨリノイハニホシカラコトヲモツ
 夫。男。も。あ。も。日。も。もの。が。づ。く。ん
 熟者ヨリ

ニツノフシハスグスベクナシヤカリ
 む。れる。か。を。は。り。ぬ。く。人。ニ。え。せ。つ。く

ノ学問タテヲニクニシテセ又心ヲシ合サテ是テリ論ヲ引クリテ是ヨリ又馬頭ノイハル也
 史記漢書
 後漢書

佛者女ノ質朴ニテアマリノクツケク又物ニリカオスルハヨカラヌモノスルコト也
 日ノクふち。論語。知者言未必盡トアルヤリ

さん。ね。も。る。そ。つ。ほ。り。三。使
 史記漢書
 後漢書

五。經。乃。ら。り。き。あ。り。哉。あ。き。ら。り

お。あ。ら。あ。あ。ん。そ。あ。い。ま。う。な
 聖。敬。し

う。め。や。う。ど。お。ん。シ。モ。ト。イ。フ。ニ。カ。ケ。テ。見。ル。ニ。女
 サレバトテ心

解。り。ハ。多。く。ト。イ。ハ。ル。女
 トテモサバカリノイハモトヨリタシ
 有。キ。ナ。シ。バ。ソ。レ。ホ。コ。ン。キ。ワ。サ。ハ
 ア。ラ。ス。ト。云。フ。自。ラ。ホ。コ。ン。キ。コ。ト。ナ。シ。タ。ル。也
 女。説

む。む。に。あ。ら。ん。む。む。に。あ。ら。ん
 一。句

む。む。に。あ。ら。ん。む。む。に。あ。ら。ん
 一。句

学問ノヌギヤリ

どういかにいふ人のみ、おもめおもまきカドアラニテ、
カドアラシ女ハ世人ノ耳ニトマン詞メニト
ハシワザハオソツカラオホカんベキコト
ニメツラシカラネバツシニミブリホコル
ベキコトハアラエトノ意ニカドアラシ人
ノトツケテ見ルハワロシカドアラシハ
コトニテ人ハ世人ナリ
。真字書人ノハハツカシクテアラヤク字
ナシハサバカリハ思フマシケシト打ヨム台
ツキニテ字音ハコウクニクヨミナサレテ
ムクツケシトナリ、
ト物ニリメカシタムヤリナリト云リ

あゝん人のこゝめよめよをさするごと。
志ぬんよお母おる。 サウ心カケテ
女おまよ。 オハ有ニシキ女トウシ
くめ。 オヨリ見シバ あなうそこの人の
こをさうあう。 オヨリ見シバ かなうこ。

あゝん人のこゝめよめよをさするごと。
志ぬんよお母おる。 サウ心カケテ
女おまよ。 オハ有ニシキ女トウシ
くめ。 オヨリ見シバ あなうそこの人の
こをさうあう。 オヨリ見シバ かなうこ。

あゝん人のこゝめよめよをさするごと。
志ぬんよお母おる。 サウ心カケテ
女おまよ。 オハ有ニシキ女トウシ
くめ。 オヨリ見シバ あなうそこの人の
こをさうあう。 オヨリ見シバ かなうこ。

やがて新ふすの月もくれ 旅ハ新ヨミゾト思ヒおコシル人ノセウソコナミキサキネカリニハカノコトノ
ヨリアン物ナシヨカラヌイフコヤガトハ新ヨミソト思ヒ居ん心テウノハ消息舟モ新ヨ
よみのあしをさるるを消息舟ナシサキサキノ人ノ様様モバカラズ似ツカハニカラヌ新ヨ

タナヨミテヤムナリ
そのあまよひの路れ カヤウハ有て
スサニニ年ハ時節モ人心モ弁(スヨミカケタルモノト也
ヨミカケラレシニ
キコトヲト人ヲ恨ム人意思ニイフ詞
此詞是ニ多し皆之を意しよみ込ニ

物ラシキトイハハアタラヌナリ
かーせぬをあさけなり。えカニせ
ヨミカケタルモノト也

イフ五月セキ九日ノエノコトヲツラらん人ノカタテハ
節會なり。お月のせちよ。常ヨリハ、そぎと

イフナリ
節會なり。お月のせちよ。常ヨリハ、そぎと

初めのあやめもアヤメトハをヨリ
節會なり。お月のせちよ。常ヨリハ、そぎと

初をむき々々や音節ノ根もナ
大内へ すゑるあした。あまのあやめをナドシ

ケトハアマノ根ノ歌ノ詞ニイハル文
かへを花も情けカハルセキもひとづめられぬよ。えなうぬ祿をひ

折ナトニヨミカケラレタル其返ニセネハ情ナレ又當坐ナトニ返哥ソウカハ又人ハカシタキ心地
スル也サレハイウレニシテセ人ニキラハルナリ也サテ前ノスサマニキ折ニヨミカケタルナトナハ

五月九月ナトナレトナリノ序ニ 何のあやめもあひと月をくねぬお何フトモワ
カス世話ニキ折ナトニ其アヤメノ根ナトツ哥ニ引カケテヨミカケナトニ又九月九日第ノ宴
ナトニウツカシキ諸心ヲヨミカケ殊ニ取込見時ナト業露ナトカコナヨセタルナトナリ

かへ祿のさるるをカヌキトハスベテ
九日のえんにすがわすき
詩ヲツクルナムツカシキワザトシテ
イハルノ雜題ト見ルハワロカメリ

つぎのきいとけみあらし也アセ急拾遺ノ
祐の心をおもひめらうりい

サテコレハ五月ノセナニニ九日ノエニシテは
やうのづきなまきいとな

合セテイハルニイワキ業内セントスル
みよあはせ
ヨリカキ話ヲ案ズルナリナドシキヤ
タドスルハカカララシマヌヤ

リナドシテ他ハハナラシカタキニシテ
サ終つてもたのびくさサナラデモ
トハカナラズを日ナラズトモを日五テでもおのづらげよ
おもくたをうくをあん

ニツカニナリテ後ヨミカコセタリトモ
ヨカルベキ物ヲノ意シオノツクラトハツ
らよえうラヨリ

萬庸ノ根ハ五日業ノ露ハ九日ゾ
おもくたをうくをあん

を時節ニテハアシドモヨシヤを日ハ三テ後ナリトモオノヅカラオカシカラシノ意ニテイヘリ
弟に後小思(嗚)を音テ後見テ きしよもあぶるをゆるることの。心イフガキキそ
必(バ)シゲニトハも音ニ同心シテイフシ 有(カリ)ケルシ

サテコハ後ニ思(バ)ゲニトウナカ(シ)テ
心得ベシサテ又此所ノ語サテラデモ

オノヅカラ後ニ思(バ)トハニツニ分テイ元 事 あぶるを。おしをうづぶよみひいてくる。

ニテ後ニ必(バ)サテラデモトイフ意ニハ 申(シ)ツルノ ふおられてもゆ。よろこび

アラズカクテアノサテラデモオノヅカラト 申(シ)ツルノ

後ニ必(バ)トニツラ合セラオカシクモ のこらふあぶるおはさてもやむおゆるをり

ト受ケタシ語ニシテ後ニ思(バ)オカシクモ 時節ヲカラスおド心ニテハ(十)十カニテナドヨメカサ

エトモツツキ又サテラデモオノヅカラオ ソノ時(ト)思ひまのぬをゆるをれんよ(カ)ル(シ)ト

トコロシノイヒサテニテハナドヲヨミ 由メキ情メク心(コソ)カハ

カニワキテ(ヘ)テスベテノ語ヲ意ヲ心 てしよ。なみあはけささらん(カ)ん

得ベシヨクセズハダギレヌベシ コソカハ

シテアシトイフ意(シ)注(シ)

ゆきくわーとぬんるまを是ハ
前ノ男モ女モワロモノハワカシシ
方ヲ残リナク多クノ徒也

安ラカニテヨロシキ(オ)エ(ア)ん
リテ コソカハ
めやもわるべき。ささるんり あ
らん事を。あぶるがかり を

イヒタキヲモ
いひはほしんるを。ひと あ

いひはほしんるを。ひと あ

あれをさすべし。さすコシハタラズト あ
モナク又サシる。サドイハテハコシトイ 源氏(ノ)君ハ人ひと
シイカバ一ホニコシトアリウナキクニハイカ 後(を)あ(る)し

ナルヤリナシドモニト有ルカタマサシ の
ヤコシトハ今(ノ)論(ノ)ヨロシトシテ あ

フトコロニタラザル あ
ナシトナリ あ
ムサシテイフサレバ此論ニヨロシトスル所 あ

つぎ あ

○日
○定メタシト何方カヨロシトモ定マラスハ
テハサマノナニ聞ニクキ雜談ニナ
ナリ其夜ヲアカシ給ツナリ元ヨリ
此段ハ源氏ノ君ノ御トキニ多ク御目
サシニ云コトモナシハ別テカシクツ
ニシキコトヲ取出テ談シタルヨシ也

〜ことゆくもの〜

〜世々にありがききよも。い

胸 塞
とむぬつごる。サミク論ヒ女ノ上ハ

づういあぶるをづるともゆくをて

ハあやきこもも ノモノカスリナド 一や

りて。夜ヲ けりたひは。

○日
○是物イミモアケ雨モヤミタルヨシ也

○か
○思召モイトホシ日ノ氣ナリ又レトテ葵上ノ方ハカテタマフト云ツキ也カテハ退出ニテ

大内サニカリイウ也

○大内ノ名も人の名もい 葵上ノ住居又其正身ノケハヒナリ

○彼人ノのすてり〜
○品定ノ所〜
○おつ〜
○そや〜

このひあを色也母屋の内を

かれがまうであつり大うのま〜

ひもげぶやう又け〜

いぞ〜あめ人あは〜

ゆ〜あま〜

け〜

さういふは、ちよこ、ノ表上ノア、トリウ、ん、ん、キツキナキ由也、中納言、表上、安女也、源氏ハ、一人、ウ、巳、時、一夜、五、ト、リ、リ、人、源、ノ、思、モ、ナ、リ、
 中務、ハ、未、猶、花、巻、源、氏、ニ、ヒ、キ、テ、
 大宮、御、気、色、イ、カ、ニ、ヤ、ト、聞、ス、人、也、
 笑、シ、テ、リ、セ、行、ト、ハ、聞、ユ、人、モ、ナ、ケ、
 ハ、カ、リ、書、キ、ナ、ラ、ヤ、ウ、ト、シ、ト、訂、止、シ、テ、
 見、ル、カ、ヒ、ア、リ、ト、ラ、テ、也、

さういふは、ちよこ、ノ表上ノア、トリウ、ん、ん、キツキナキ由也、中納言、表上、安女也、源氏ハ、一人、ウ、巳、時、一夜、五、ト、リ、リ、人、源、ノ、思、モ、ナ、リ、
 中務、ハ、未、猶、花、巻、源、氏、ニ、ヒ、キ、テ、
 大宮、御、気、色、イ、カ、ニ、ヤ、ト、聞、ス、人、也、
 笑、シ、テ、リ、セ、行、ト、ハ、聞、ユ、人、モ、ナ、ケ、
 ハ、カ、リ、書、キ、ナ、ラ、ヤ、ウ、ト、シ、ト、訂、止、シ、テ、
 見、ル、カ、ヒ、ア、リ、ト、ラ、テ、也、

人、ハ、見、テ、ウ、ル、此、口、口、ハ、声、ヲ、タ、テ、笑、
 ヒ、タ、ル、ハ、ア、ラ、ス、左、大、臣、殿、ノ、物、語、す、
 エ、給、ウ、間、々、源、氏、ノ、鼻、者、サ、ニ、堤、カ、ネ、
 テ、迷、惑、シ、給、ハ、ル、彼、中、納、言、
 中、務、ヲ、ト、ヤ、ウ、女、房、ト、モ、ツ、カ、リ、
 テ、指、サ、シ、ト、シ、テ、ヒ、カ、ニ、笑、フ、ヲ、ア、
 カ、ミ、ト、ハ、制、シ、給、ハ、ル、也、服、鳥、ハ、古、名、
 ワ、キ、ツ、キ、ト、ラ、テ、書、紀、哥、ト、見、ユ、
 蘆、荻、抄、ト、云、フ、也、
 伊、ト、ハ、男、左、臣、ト、シ、テ、大、
 カ、タ、智、智、若、ナ、ラ、ハ、サ、カ、モ、シ、
 給、フ、キ、ワ、サ、ナ、ク、服、鳥、ヨ、リ、カ、ス、サ、
 ス、三、時、メ、キ、給、フ、皇、子、ト、シ、心、安、キ、
 フ、ル、ニ、ヒ、ナ、リ、ト、ラ、テ、ナ、リ、

さういふは、ちよこ、ノ表上ノア、トリウ、ん、ん、キツキナキ由也、中納言、表上、安女也、源氏ハ、一人、ウ、巳、時、一夜、五、ト、リ、リ、人、源、ノ、思、モ、ナ、リ、
 中務、ハ、未、猶、花、巻、源、氏、ニ、ヒ、キ、テ、
 大宮、御、気、色、イ、カ、ニ、ヤ、ト、聞、ス、人、也、
 笑、シ、テ、リ、セ、行、ト、ハ、聞、ユ、人、モ、ナ、ケ、
 ハ、カ、リ、書、キ、ナ、ラ、ヤ、ウ、ト、シ、ト、訂、止、シ、テ、
 見、ル、カ、ヒ、ア、リ、ト、ラ、テ、也、

さういふは、ちよこ、ノ表上ノア、トリウ、ん、ん、キツキナキ由也、中納言、表上、安女也、源氏ハ、一人、ウ、巳、時、一夜、五、ト、リ、リ、人、源、ノ、思、モ、ナ、リ、
 イ、ト、ア、シ、キ、フ、ト、イ、フ、ハ、ウ、ツ、ケ、ル、源、氏、若、ノ、語、ヲ、ウ、ツ、ノ、中、間、ニ、ハ、サ、ミ、
 タ、ル、物、ナ、リ、ニ、條、院、ニ、モ、ト、イ、フ、ヨ、リ、ハ、源、氏、若、ノ、詞、ナ、リ、
 中、河、ノ、中、ノ、源、氏、若、ノ、高、貴、ナ、ル、ト、思、ハ、ル、
 ナ、カ、ハ、也、紀、伊、守、家、中、川、ノ、ホ、ト、リ、ニ、
 ア、リ、シ、也、
 船、中、ノ、一、牛、ノ、下、乗、セ、ヌ、コ、
 コ、ヒ、ナ、リ、
 馬、ビ、ノ、居、方、ノ、所、シ、テ、通、
 フ、御、方、ト、ラ、テ、下、ノ、下、シ、テ、詞、ノ、縁、テ、
 方、タ、カ、ト、ラ、テ、也、大、内、ニ、久、シ、ク、モ、リ、カ、ハ、
 シ、テ、通、シ、タ、ハ、シ、カ、カ、(故、ト、女、思、
 ハ、モ、イ、ト、オ、シ、ト、也、人、情、コ、カ、也、

さういふは、ちよこ、ノ表上ノア、トリウ、ん、ん、キツキナキ由也、中納言、表上、安女也、源氏ハ、一人、ウ、巳、時、一夜、五、ト、リ、リ、人、源、ノ、思、モ、ナ、リ、
 イ、ト、ア、シ、キ、フ、ト、イ、フ、ハ、ウ、ツ、ケ、ル、源、氏、若、ノ、語、ヲ、ウ、ツ、ノ、中、間、ニ、ハ、サ、ミ、
 タ、ル、物、ナ、リ、ニ、條、院、ニ、モ、ト、イ、フ、ヨ、リ、ハ、源、氏、若、ノ、詞、ナ、リ、
 中、河、ノ、中、ノ、源、氏、若、ノ、高、貴、ナ、ル、ト、思、ハ、ル、
 ナ、カ、ハ、也、紀、伊、守、家、中、川、ノ、ホ、ト、リ、ニ、
 ア、リ、シ、也、
 船、中、ノ、一、牛、ノ、下、乗、セ、ヌ、コ、
 コ、ヒ、ナ、リ、
 馬、ビ、ノ、居、方、ノ、所、シ、テ、通、
 フ、御、方、ト、ラ、テ、下、ノ、下、シ、テ、詞、ノ、縁、テ、
 方、タ、カ、ト、ラ、テ、也、大、内、ニ、久、シ、ク、モ、リ、カ、ハ、
 シ、テ、通、シ、タ、ハ、シ、カ、カ、(故、ト、女、思、
 ハ、モ、イ、ト、オ、シ、ト、也、人、情、コ、カ、也、

さういふは、ちよこ、ノ表上ノア、トリウ、ん、ん、キツキナキ由也、中納言、表上、安女也、源氏ハ、一人、ウ、巳、時、一夜、五、ト、リ、リ、人、源、ノ、思、モ、ナ、リ、
 中務、ハ、未、猶、花、巻、源、氏、ニ、ヒ、キ、テ、
 大宮、御、気、色、イ、カ、ニ、ヤ、ト、聞、ス、人、也、
 笑、シ、テ、リ、セ、行、ト、ハ、聞、ユ、人、モ、ナ、ケ、
 ハ、カ、リ、書、キ、ナ、ラ、ヤ、ウ、ト、シ、ト、訂、止、シ、テ、
 見、ル、カ、ヒ、ア、リ、ト、ラ、テ、也、

女房御んまかりうらまゝ
父伊守守ノ妻ウリセニウリヤル
ナリ今人ノ妻ウ女房云ハ伊守守ノ
妻ウ女房ト思フ(カラスコハタイ女
モノト云フ)伊守守ノ妻ト云ヒ
ト云ハ伊守守ノ妻ト云ヒト云ハ
シラモシキ絵テハ人ナカレト云ヒ
げふより一紙にゆ一所よも
弄花紀伊守ガ詞トヤルヨ
シタハフシテ云フオニ所ハ
ソノ木丁ノウシロニト玉(ルニ
ツキニイヘル也

目ごとくしりあるりくふしびてひ
まじくはつご高へくお母さんまじり
たがぐーまのりこみお母をどめをうけ
しありりあぐーまをさうそ伊守のうこれ
臣の家子つて志むこも侍もく女房なんまじり
あゝくその人あうらんあうれーうま
女もまじり旅ねお母そりたんちまじり
さそその木丁のうーうあこのあ(げよ
る志まおま^{御坐所ノカケリ}おあまそそ人ーうま
かお母びくーうまーうまーうま

そまうらうらあまのあーソコト所
モ定メダゴカカレコト出ノミセナリテ
鳴サナリ

経
ハ紀伊守ナン故コユルキノ歎ト風
流ト出タん泉ナリ

とらまぎああ(はやま)あまま
こまおまむしあまま
まぬりまあはうあまおれど人ま
入ぞあん殿のひんがーおのこまひあ
させーうらそめれおまらひーう
のんたかあまうらうまーうま
る中おあまあままま(ま)て前裁た
こまあまめま(ま)うらうま
そこはうまま(ま)のこま(ま)あま
あげこまま(ま)ま(ま)ひ
くわあま(ま)ま(ま)ま(ま)ま(ま)お
てま(ま)のま(ま)もま(ま)れ(ま)む(ま)あ

俗ニ書ツケタカサ也歎ニイソクイトヒカケナリ

中の屋より出て居て是をメニスリヤウナ
テ人ノ國ノイニカ、ツラヒイトナミテ居たり
タ中ニミ又キサシクアリテ中ノ島ケシ
ウハアラエリ出ツキコロホヒナリトアリ
源ノ思出タニフコシナリ

多岐あがねるけり一記之を空蟬

ハ今ハ伊豫ノ谷ガ妻ナルニ云々

トイハハイカナルヤウナレドモ

コレハ思ヒアガレルヤウニキモモ

ヒニハ人ノスミテ有ニホドノラ

コトナシバタガヘルコトナシヤ

与外ガムスメノイカトモ

オモヘドサニハアゾス

やゝもゝゝ 孫遺ノ説ノ如ク俗言

ワウトハイフコトナリ

又強シカ木竹ヤウノ物ノユリナリ

申ヨリ折タル如ク俄ニモノス心ニテ

用ヒタルハタナニトナクタエオキ

テットカシハタナニサノ地ヘ用ヒタリ

もや 身屋ニオウ古ハト

イハ例タニサテムトモトハ

近リ通フ音ニモヤトイヒ

ナセルヲ母字ヲ借テ母屋

トモ古ハ母ヲオモトテ故借ベ

テ古ハノミオモヤノ義也ト云

説ハワロニサテ身屋トハ屋内

ノ真中ニ有テ字トアル所ナ

イフ名ニ俗ニモ物ノ真中ナ

ニオトイフニ同シ

此ハ此ノみかひりり後如ク深心

サレキクマナトニカクレ給フナト云キクモ

モシヤ藤妻ニ家山ニ通ノコトナラシ人モシ

リテコトモアリヤト不断 思召心ガん

コトナシハ先ムネツフントナリ

このいそふありて母も君のいそやうふ

このあてりの中は志れよそりいそひ

このたういそんくしとけりいづあひ

あがねる朝色よきとき多るむとめな

愛所ニ思ヒアリコトナリコトナキナヤウナ

志を捨テみてみるはあつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

あつりよこれ

中の屋より出て居て是迄メニスリヤウチ
テ人ノ國ノイニカ、ツラヒイトナミテ居たり
タル中ニモ又キサシクアリテ中ノ島ケシ
ウハアラエリ出ツキコロホヒナリトアリ
源ノ思出ヌフコシナリ

多ハあがれりけり記之々空蟬

ハ今ハ伊豫ノ分ガ事ナシム多

トイハハイカナルヤウナシ

コレハ思ヒアガレルヤウキキ

ヒニハ人ムスメニテ有ニアドノ

コトナシバタガヘルコトナシ

与々ガムスメノイカトモ

オモヘドサニハアラス

又強抑カ木竹ヤウ物ノユリナク

中ヨリ折タル如ク俄ニモスル心ニテ

用ヒタルハタニナトナクタユメオキ

テットカシハタルサ下ノ用ヒタリ

もや 身屋ノオウチ古ハト

イハ例多クサテムトモトハ

近リ通フ音ニモヤトイヒ

ナセルヲ母字ヲ借テ母屋

トモ古ハ母ヲオモトテ故借

テセルノミオモヤノ義也ト云

説ハワロシサテ身屋トハ屋内

ノ真中ニ有テ竝トアル所

イフ名ニ俗ニモ物ノ真中

ニオトイフニ同シ

此ハ以テノみわたりたり後

サレキクマナトニカクシ給

モシヤ藤巻ニ家ニ通ノイ

リテラコトモアリヤト不

コトナシハ先ムネツフ

このたうにあらんしと地がうづあひ

あがれり氣色よきとむぎ多入るむよめな

事な抱くてみるも先あつるよこれ

あつてあそ人のけいひとらきぬのちるあひん

てあつてあそむもあつてあそむ

むぎよ志のびてみるひたすけるい

あつてあそむもあつてあそむ

あつてあそむもあつてあそむ

あつてあそむもあつてあそむ

あつてあそむもあつてあそむ

あつてあそむもあつてあそむ

あつてあそむもあつてあそむ

あつてあそむもあつてあそむ

あつてあそむもあつてあそむ

あつてあそむもあつてあそむ

あつてあそむもあつてあそむ

あつてあそむもあつてあそむ

あつてあそむもあつてあそむ

あつてあそむもあつてあそむ

あつてあそむもあつてあそむ

あつてあそむもあつてあそむ

あつてあそむもあつてあそむ

あつてあそむもあつてあそむ

あつてあそむもあつてあそむ

あつてあそむもあつてあそむ

あつてあそむもあつてあそむ

あつてあそむもあつてあそむ

あつてあそむもあつてあそむ

ほくわめめてお、ノ意ハイダ
哥ノサミヲケレ崩シユカミヲ語ルコシ
兄ト思ヒエザレドモユガムコトニカ
クツキタルヤウニワロク受エテカタルモ此人タチヲカカリ不スレカチヨハカ
ナラハ不
オトリス

拾遺類ナリトテ顔ヲカタ
モイカバチリ
カニカタルハウケモアスカニト
ネガヒテマタルニ其ハウケキ
ツ心モトナシトハ云ニサテカク
ノメニフハ皆タハブレナリ
何れもんとえうも弟は
バトカ一こありて催馬
ノ詞ニテ各一人ニテイカニ
テヨク侍ラエ思ヨリ侍ラ
トヤセル意ナリウタハ
工義諾ニ奉ラスナリ

サカカタノハウケモアスカニト
ネガヒテマタルニ其ハウケキ
ツ心モトナシトハ云ニサテカク
ノメニフハ皆タハブレナリ
何れもんとえうも弟は
バトカ一こありて催馬
ノ詞ニテ各一人ニテイカニ
テヨク侍ラエ思ヨリ侍ラ
トヤセル意ナリウタハ
工義諾ニ奉ラスナリ

サカカタノハウケモアスカニト
ネガヒテマタルニ其ハウケキ
ツ心モトナシトハ云ニサテカク
ノメニフハ皆タハブレナリ
何れもんとえうも弟は
バトカ一こありて催馬
ノ詞ニテ各一人ニテイカニ
テヨク侍ラエ思ヨリ侍ラ
トヤセル意ナリウタハ
工義諾ニ奉ラスナリ

サカカタノハウケモアスカニト
ネガヒテマタルニ其ハウケキ
ツ心モトナシトハ云ニサテカク
ノメニフハ皆タハブレナリ
何れもんとえうも弟は
バトカ一こありて催馬
ノ詞ニテ各一人ニテイカニ
テヨク侍ラエ思ヨリ侍ラ
トヤセル意ナリウタハ
工義諾ニ奉ラスナリ

サカカタノハウケモアスカニト
ネガヒテマタルニ其ハウケキ
ツ心モトナシトハ云ニサテカク
ノメニフハ皆タハブレナリ
何れもんとえうも弟は
バトカ一こありて催馬
ノ詞ニテ各一人ニテイカニ
テヨク侍ラエ思ヨリ侍ラ
トヤセル意ナリウタハ
工義諾ニ奉ラスナリ

サカカタノハウケモアスカニト
ネガヒテマタルニ其ハウケキ
ツ心モトナシトハ云ニサテカク
ノメニフハ皆タハブレナリ
何れもんとえうも弟は
バトカ一こありて催馬
ノ詞ニテ各一人ニテイカニ
テヨク侍ラエ思ヨリ侍ラ
トヤセル意ナリウタハ
工義諾ニ奉ラスナリ

サカカタノハウケモアスカニト
ネガヒテマタルニ其ハウケキ
ツ心モトナシトハ云ニサテカク
ノメニフハ皆タハブレナリ
何れもんとえうも弟は
バトカ一こありて催馬
ノ詞ニテ各一人ニテイカニ
テヨク侍ラエ思ヨリ侍ラ
トヤセル意ナリウタハ
工義諾ニ奉ラスナリ

サカカタノハウケモアスカニト
ネガヒテマタルニ其ハウケキ
ツ心モトナシトハ云ニサテカク
ノメニフハ皆タハブレナリ
何れもんとえうも弟は
バトカ一こありて催馬
ノ詞ニテ各一人ニテイカニ
テヨク侍ラエ思ヨリ侍ラ
トヤセル意ナリウタハ
工義諾ニ奉ラスナリ

サカカタノハウケモアスカニト
ネガヒテマタルニ其ハウケキ
ツ心モトナシトハ云ニサテカク
ノメニフハ皆タハブレナリ
何れもんとえうも弟は
バトカ一こありて催馬
ノ詞ニテ各一人ニテイカニ
テヨク侍ラエ思ヨリ侍ラ
トヤセル意ナリウタハ
工義諾ニ奉ラスナリ

サカカタノハウケモアスカニト
ネガヒテマタルニ其ハウケキ
ツ心モトナシトハ云ニサテカク
ノメニフハ皆タハブレナリ
何れもんとえうも弟は
バトカ一こありて催馬
ノ詞ニテ各一人ニテイカニ
テヨク侍ラエ思ヨリ侍ラ
トヤセル意ナリウタハ
工義諾ニ奉ラスナリ

サカカタノハウケモアスカニト
ネガヒテマタルニ其ハウケキ
ツ心モトナシトハ云ニサテカク
ノメニフハ皆タハブレナリ
何れもんとえうも弟は
バトカ一こありて催馬
ノ詞ニテ各一人ニテイカニ
テヨク侍ラエ思ヨリ侍ラ
トヤセル意ナリウタハ
工義諾ニ奉ラスナリ

サカカタノハウケモアスカニト
ネガヒテマタルニ其ハウケキ
ツ心モトナシトハ云ニサテカク
ノメニフハ皆タハブレナリ
何れもんとえうも弟は
バトカ一こありて催馬
ノ詞ニテ各一人ニテイカニ
テヨク侍ラエ思ヨリ侍ラ
トヤセル意ナリウタハ
工義諾ニ奉ラスナリ

サカカタノハウケモアスカニト
ネガヒテマタルニ其ハウケキ
ツ心モトナシトハ云ニサテカク
ノメニフハ皆タハブレナリ
何れもんとえうも弟は
バトカ一こありて催馬
ノ詞ニテ各一人ニテイカニ
テヨク侍ラエ思ヨリ侍ラ
トヤセル意ナリウタハ
工義諾ニ奉ラスナリ

ふつわりのしるしをさうし此ふ
トアリケガ不意ト書ルコトアリ
テ字ノミニふイトハ寫シテタルヤ
アラシ不意ト方モ心ヲラスノ意ニ
テハアシト字青ト言葉トハカノ
ツカフ意味別ニナルヤナリコトハ
必スうらるゝトカカキヤ
らハメトカアリキカカリ也

さうしとゆふやうにさうし
紀ノ者ナドハイカニツキニシクイ
メキテノグムトモ空蟬ヲユルニ
テアハセハセシテ伊介介
テ妻ニシタルハケニキバミヨシ
アル男ゾヨトメハブレテノ給
フナリ
みね下をさうし実ニ下をさうし

卑言ヲ加ヘテサトス也何シモヨリカタカシ

いふは奴よりんといつてやの終らせし世こそ
さうめあきまのなれらるゝいねよとあはれあ
あうりて地し終らなり世中とつて
のされも今もむらもさうし
こゆねたうつらう色女のさくせハ
うらひさうあはれは終らるゝ
さう伊介のめはうづやまもあはれんか
いねわらうはさうしとさうし
とさきとさうしとさうし
てうけひきゆらういねよとさうし
とさうのつきとさうめあはれんよお
うらうらひやはらめといふありて

中おはれさうしと女のゆきせりさうし

是ハ前ニ源氏君ノ詞ニウニ開シメテ信仕ニ出シタ

伊介のめはらうとさうし
ニモヨリカタケシハ此行ヨリ八九
コヨヒ空蟬ニシテ給ハンノ御心
コニ又紀伊守カ心ヲ引シントテ
源ノ詞
伊介のめはらうとさうし
なつこハサヤウニモ空蟬ハオモハヌサニ見エ侍ラス伊介守ハ女ヲ大切ニ
あつこハサヤウニモ空蟬ハオモハヌサニ見エ侍ラス伊介守ハ女ヲ大切ニ
あつこハサヤウニモ空蟬ハオモハヌサニ見エ侍ラス伊介守ハ女ヲ大切ニ

伊介介とおらうとさうし
トア不巻とさうし
伊介介とおらうとさうし
元来心ノユキトホリ世中ノ道ニモ
色コノミノ方ニモ

ふつわの... 此の...
トアリケルが不意ト書ルコトアリ
テ字ノミハ...
アラシト字ヲ書ト言葉トハカノ
ツカラ意味別ニナリヤナリコトハ
必ス...
らハトカアリタキカカリ也

いふは... 世を...
あつて... 世中...
の... 今も...
う... 女...
守... づ...
い... せ...
と... せ...

絶ノ者ナドハイカニツキ...
テアハセハセ...
アル男ゾヨトタハブレテノ給
フナリ

ろ... せ...
て... せ...
て... せ...
て... せ...

卑言ヲ加ヘテサトス也何レモモコ

此... 此... 此...

伴との... 古... 此... 古...
ニモヨリカタケシハ此行ヨリ八九行向例ノ卑言ヲ加ヘテサトス也サテ源氏君
コヨヒ空蟬ニシト給ハンノ御心マズ故ニ上ノ條ヨリクサノノトモウキ、試ミタヒ
コ、ニ又絶伴守カ心ヲ引シントテカ、ルノトモウ向給ヘル也ソノ心シテ見ヘシ
源ノ詞

伴との... 空蟬... 伴と守ハ女ノ大切ニ...
トアネ君... 年コロニ...
伴と介... 介...
元来心ノユキトホリ世中ノ道ニモ...

中乃めーのまゝ前ニ空蟬ノ詞ニ
中将ノ君ハイツクミソ人ケ遠キ
コナシトアムヲウケテ源氏ハ
當官中将ヤム故ニカクイリ
トリア(スヨキ詞ナリ)

やとねびもれど 夢水一露ニヤハ
オビエタル声ナレシ
しらぬくぬ湯ノ詞也ウチケナンヤリニ
思タワラメ我ハ年月思ア下リテヨ
キ折ソノキヌス下シテ方々カ(ニトヨセテ
集リタリトナリ)

あつー コミ誰ニカヤラシ人集ツルトモ
人とも エヨバノラ又ナリ

らさあーく空蟬ノ心ナリノ詞ニ
アズ人々カ(ヨリ)詞ナリ

りやーくはさくりイウなる小男ノ
声ニテヨフエニ中将ノ心ニアヤシニツホ
ノクノキニサクリヨリタシハ源ノキミタ
ルネノ香ノニホヒニサテハ源氏若ナリ
思ヨリタト也セシカメナシト也

やとねびもれど 夢水一露ニヤハ
セヨトイハントテカリヨビカケテ五
へんナレニ然ラサレバ此言ヨシナシ

う(たの)まゝねどなり不 ちままで 申將ノ君ノト思ハナリ

思つら申物め しまばおもむ人 忘れぬあひ
のきやあつらうらしてよめあはれともく

とあひまられむのよおそはけりあつら

てやまにびゆまごうほまゝぬのさうりさ

とあひまられむのよおそはけりあつら

のほごさ路らんことわりあはれむ年より

あひまられむのよおそはけりあつら

あつらあひまられむのよおそはけりあつら

あつらあひまられむのよおそはけりあつら

らうよめあて鬼神をあつらあひまられむのよおそはけりあつら

けいひあはれむのよおそはけりあつら

心ナゲニハレタキ此言処ニミリスヌガリトモタテラリス

のきやあつらうらしてよめあはれともく

とあひまられむのよおそはけりあつら

あつらあひまられむのよおそはけりあつら

あつらあひまられむのよおそはけりあつら

あつらあひまられむのよおそはけりあつら

あつらあひまられむのよおそはけりあつら

あつらあひまられむのよおそはけりあつら

あつらあひまられむのよおそはけりあつら

あつらあひまられむのよおそはけりあつら

あつらあひまられむのよおそはけりあつら

あつらあひまられむのよおそはけりあつら

あつらあひまられむのよおそはけりあつら

あつらあひまられむのよおそはけりあつら

伊予の人のあつた源氏君
如高貴人ナラハアラカニ引ハ
ナツコトモアラメツレサハ
ハ人モアタメシリテツミレキツ
シテカハ人ツレカアラカニ
カメレトナリ

あはくゆりくるらちさるよあひよりなあ
こはつたあつたあつたあひま
あれとあひまあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあ

それよ人のえとヒキノ
ハアラレトタテ又スキカニキサニハヨモニ奉ラシ思
フトスコ聞ユキヤトノタヘトモカク引キテ無理
車ヤトシタヘタル君ノ先ノ詞ニサラヤサクハトタヒ
シ如クコナニテハ下ノ者トオモヒオトシナサケナキツイカ
ラカアサクハカモハテアランイカニモナサケナキト恨タル
也下ノオレタチタヘンツナトナリモ無理ニ実車ヤリシ
サハセアリ

あつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあ

今按此報違リツノ意ハエヌ
コハ身ノ分際ニ上中下侍リカヤ
ウツ下ノキハ下ノキハドナノイニ
侍レト意也カスナラ又ヤナカ
ラセト云ヨリツノキタルヲモ思
ヘシ下ニイトカクニナサタベリ
ヤノオホエナラトアルツヒア
ハスヘキナリ

あつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあ

ヤコヨヒカクハカラテ逢奉^ルトモヨリハ彼古哥ニイハルヤウニ逢^ル也

〜のうみそと〜 イタクナケキ入テ あり〜よさげふ〜

何〜取返ヌ物ニモカナヤ世ノ中ヲアリニナカラノ我身ト思ハシ有シナラノ昔ノ身
ナラハ此後タノムコモアルヘキニ夫アル身ハセニカタナシト也空蟬心ウヨカ又ノ未迄カク如シ
み〜の物ヤそ〜それと〜おあ〜〜〜
古今ニハミキトナイヒワトア九ケケツト引カヘテ書ル面白シト云リ此哥ハ大和物語ガツラ
ミコノ逢ニシキ人ニアヒテヨコミタヘンナリト云リサテ此注ニアヒタルトモアハストモアレド前
云如ク此夜ハ逢ヒニシウタカヒナシ

おんれハハ空オホスル君ハ若
カハナト云如ク元老ボレサト同
物コトワカラヌヨレセコハモ逆ニ又ヤリ
シタニク

見ギ〜ゆ〜ハ〜既ニ実ヲ
有シウナリサテカククモ見
タルハ空蟬ノタメニハ心クル
ケレドモ逢ニスハクナクシキマ
ナラトオボスナリ

あ〜さめが〜〜空蟬心ナリ原
氏名ニ逢奉^ルリシテカナシキヲ
ヒナガサトスレドモナガサメカタク
ウニト思フナリ原氏君ノナガサメ
後ヘドモトイフヤウニ心得タルハ
タガナリ
世を思ひあ〜ぬや〜お世ヲシムハ
男女ノカタラヒヨシムコトニ思シラ
ヌトイフモタガシラヌトイフナ
ナシ

〜のやま〜〜〜あなぐらなるぬらるるを
〜のうみそと〜とあひ〜あ〜さあなご
〜あ〜れなり〜ら〜〜あ〜れごみざ
ら〜〜ら〜お〜〜あ〜とあなご
さあ〜〜〜とあ〜れなり〜ら〜〜
ま〜た〜の〜もあなご〜あ〜ら〜ま〜あ
なる志を〜とあ〜ら〜あ〜ら〜あ〜ら〜
むげふ世哉あひあ〜ぬや〜もあなごれあな
ん〜つ〜ま〜ら〜ら〜れ〜ら〜ら〜
ま〜の〜あ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜
の身あて〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜
〜〜我〜の〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜

みゆり... 後... ち... コヨヒコリカリ心ナキモノ思ハ奉

ルトモ後ニハ又サモアズト見立ニ五フヤウモヤラムカト思ヒテワガ心ヲ

ナクサムベキニトイヘルナリナグサムルハ源氏君ニサケナキモノ思

ハルガカナキヲナグナと云ひあつたまをい... くらなり

ムンナリ... 海... 引シタル

カサナキ... 哥ハ... 四

かま... 小... 人... と... 寝... び... くらなり

路乃後... 灘の山の後も... 山

君トイフ... 哥... オエタガ... 玉元

ナルニ

い... ころ... かり... び... くらなり

川... せ... け... 夫... アル... ナ...

ニビト逢見奉ルベキニアラサ

レバコヨヒワリナク度逢

奉リシハタガカリツメノ

ウキタル契トイフに空際

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

ハコトク明クナルニテ巻ク
シテトイハハイククイコト
云類ナルヤテ端ノ説アタラス

（此）ハコトク明クナルニテ巻ク
ハコトク明クナルニテ巻ク
ハコトク明クナルニテ巻ク

此所ニ中將ハ待ウケテ空ノ出ル心クルレカリ
タルナラサラハタリタルニ人ノ物語アラハニ
聞ユアトモカモハネハ是前君ノ哥又其外ノ
詞中將ニキカセトテハアラタニヤ
為ルルノ詞ト 何故の巻をのつて
かきこへるる空をのつてくもわらわ
と君もふまゝと何さりぬ天の川
今もやえてや
障子ナラタラタル哥ナレハヨリカサヘリ

此詞ヲ思ハ
コトク思フ
輝本性也其身本中納言也テアリテ不運ニテ受
リ下リスクセ定ニリテ後源氏君ガモハレタリトモ今
カヒ奉ルルモ叶ハス其ウキリツカタルニアカ又トニ鳥カ
成ルルハコトク思フ
コトク思フ
コトク思フ
コトク思フ

前ニ見エタリ程分モモアリ
皆同じ是ハアカリ像子ニテウ
スキ紙一ニモナレバウカラ破
クケタル所穴ナドナルヨリ
見无ナリ
光をさすはねのゆき
八月ノアカリコサハルハキユル
ナリ孰ハ地モアレ物モアレテ
マリテ見ユ月ノ影ノ有ク
サマコトニヨニイハゴトクナル
モノナリ
何ん好きそそそそそそそそ
別スん心ハナケレドモ此詞妙
源君ノハ別レシ空ヲ名残ナレクモナイタ
コトク思フ
月ニカケテカヘリ見カキニ出ヌハナリ
月ノ光リハ見ル人カラサレニヤサシクモ
エニモスソクモサアユシハナリ

何ん好きそそそそそそそそ
別スん心ハナケレドモ此詞妙
源君ノハ別レシ空ヲ名残ナレクモナイタ
コトク思フ
月ニカケテカヘリ見カキニ出ヌハナリ
月ノ光リハ見ル人カラサレニヤサシクモ
エニモスソクモサアユシハナリ
コトク思フ
コトク思フ
コトク思フ
コトク思フ

ハコトク明クナルニテ巻ク
シテトイハハイヨクツイヨト
云類ヤムヤハ梯ノ説アタラス

（ま）はなれうみそそぬ藤原よりありあ
ぬまぐおらうくらん女身はありさあを
おのよいつきまあまぶゆさくらうて免
てしほりてなもたあもおひくバ

ハコトク明クナルニテ巻ク
シテトイハハイヨクツイヨト
云類ヤムヤハ梯ノ説アタラス

つぬはいつきまあまぶゆさくらうて免
てしほりてなもたあもおひくバ

ハコトク明クナルニテ巻ク
シテトイハハイヨクツイヨト
云類ヤムヤハ梯ノ説アタラス

あはなれうみそそぬ藤原よりありあ
ぬまぐおらうくらん女身はありさあを
おのよいつきまあまぶゆさくらうて免
てしほりてなもたあもおひくバ

ハコトク明クナルニテ巻ク
シテトイハハイヨクツイヨト
云類ヤムヤハ梯ノ説アタラス

あはなれうみそそぬ藤原よりありあ
ぬまぐおらうくらん女身はありさあを
おのよいつきまあまぶゆさくらうて免
てしほりてなもたあもおひくバ

殿小切りし跡にて葵土御
所也下此亦トハ大殿ニノミカ
ハシマスト有ニテ知シニ条院
ニハアラス

ひくれし事ハ源心ニ空輝
ハ形ナトハスシタルハナケレト
モテナシ用意ナトヨカリニト也
中のおれ々子受領ノ女中ノ品
ト馬頭カイヒニ故ウナカセテ
中ノ品カイトイヘリ

ルニギキコトハオボエナガラ
ワ有る人よけし事ひえむ
ミヅカライフコトヲクタニヒト
ハコレハ源氏君ノ作セラレ
コトナル故ニイフカ又々敬ヒタル

訃ニテモ有ベシ今世ニモ敬
テイフ訃ニハオカガ方ニモト
言フ席ん女グヒナラシカ
けあしハ侍りたるニステテ
ウハアラストイフハワロクハア
意ナリノコトイフ意ナリトイ
ハタガヘリ

世のよきひや々々世中ニイヒ
ナラハミタルコトヲ世ノタトヒト
らねる人おまゝ源氏ノ元ヨリハ
君ヲ身近ク仕ハント有モ其心ハ
空輝ニ申テ見ント云フ聞ラムネ
タルトナリ常ニナル人情ナリ
世のよき河請君撥蜂君莫撥
愛君父子成材根白氏文集此外
和漢例多シコレ継父據上ニ蜂身
ヲサスヲトレトテ継子ニ父ニハ
ントセシ古コト也

とくつりまがらめていであひぬ殿より
あきもくみよをすまわれ路もす
又あひまらばきくちのあき
のあきん心の肉をわらんと
くかやちるまぶれつうはあき
どめやまらめつうはあき
あきまらまらあきあき人のあき

こまげあきまらあきあき人のあき
あきまらまらあきあき人のあき
あきまらまらあきあき人のあき
あきまらまらあきあき人のあき

あきまらまらあきあき人のあき
あきまらまらあきあき人のあき
あきまらまらあきあき人のあき
あきまらまらあきあき人のあき

あきまらまらあきあき人のあき
あきまらまらあきあき人のあき
あきまらまらあきあき人のあき
あきまらまらあきあき人のあき

あきまらまらあきあき人のあき
あきまらまらあきあき人のあき
あきまらまらあきあき人のあき
あきまらまらあきあき人のあき

あきまらまらあきあき人のあき
あきまらまらあきあき人のあき
あきまらまらあきあき人のあき
あきまらまらあきあき人のあき

トコアリタルナリ糸糸ノモツレサトモモ
ハツレカラレテニテハツレモツレサトモモ
トコアリタルナリ糸糸ノモツレサトモモ
ハツレカラレテニテハツレモツレサトモモ

トコアリタルナリ糸糸ノモツレサトモモ
ハツレカラレテニテハツレモツレサトモモ
トコアリタルナリ糸糸ノモツレサトモモ
ハツレカラレテニテハツレモツレサトモモ

トコアリタルナリ糸糸ノモツレサトモモ
ハツレカラレテニテハツレモツレサトモモ
トコアリタルナリ糸糸ノモツレサトモモ
ハツレカラレテニテハツレモツレサトモモ

そのまゝのまゝに後をむかへて
めまのまゝにむかへて
めまのまゝにむかへて
めまのまゝにむかへて

めまのまゝにむかへて
めまのまゝにむかへて
めまのまゝにむかへて
めまのまゝにむかへて

めまのまゝにむかへて
めまのまゝにむかへて
めまのまゝにむかへて
めまのまゝにむかへて

已下例ノ例言ヲクハクハ(ニ中間ニ段ヨリカシムモアリ)

君ノ所許ヨリ 何れもあつたか

モシハイスニテ 心算りむふ

ニ世ニかゝるべきをせしむ

ナキ ねがえをサ(ハ)ニテ上つて

めまのまゝにむかへて

けまのまゝにむかへて

世ノ人ノ聞テ如ク

サリトテ其

アルキ

マコソナカラ

エテツラム

ル

ル

Handwritten text in a cursive style, possibly a letter or a record, with some boxed words.

Handwritten text in a cursive style, possibly a letter or a record, with some boxed words.

拾遺ニ言万葉ナシ太馬ツ
ツツトヨミタシハあつてハ人ノ
フトリ過タルカイヤシケナシハ
ツレコリカコリテゴロツノ
之ナクシタカ過タルヲ
ウトナカトイハルコト
吾ルハ殿河装束調スル所也
内蔵寮ノ外ニ御服ナト裁縫所
也順徳院御記ワカミクシケトイトハ
源ノ御服ヲ立ヌフ所ナリ

Handwritten text in a cursive style, possibly a letter or a record, with some boxed words.

が小使でてやうくゲニサ

中ノ人ノ名ヲ彼モルモケニシ

やうりしけし一たの原 なるしおけしあつたあぶよあどく

氏君を名なりしむりカケ ぬやうとあひ出まてぬあはあぬどあ

テモアルニキコトハイミヅク ーしとあをそしとあつりさもあめ

ウキー思へり空輝しを うはならぬあどあひくことなりまうりあ

時ノケニキナリ江原公君 皆あはあけのあああふふつーくも

ヲ思ハヌハアラザシヤン ぬくもああああああああああ

シト介へんハコニハカナハズ ぬくもああああああああああ

ゆりりーけし前ヨシ合ハ ぬくもああああああああああ

ニキトナカケト思へルサマケコトウリ のいあ

ナリトアル詞ツウケテカケん也空輝ミ ぬくもああああああああああ

サスカニ滯氏ツカモハヌハアラザリシヤ ぬくもああああああああああ

ルシトナリサルコトナカラコノ詞ノ ぬくもああああああああああ

オモヘリシケシキハ前ミラニキトナ ぬくもああああああああああ

カケリト思ヒ入リタルサノイトホ ぬくもああああああああああ

シト也 ぬくもああああああああああ

ふかりよやうで後々あはあはあ ぬくもああああああああああ

てニハカニハオハニシタリカ、 ぬくもああああああああああ

シリ像ニガテあフトイフニ ぬくもああああああああああ

ハアラズニシテハ忌ノカラ ぬくもああああああああああ

タカニニクニネキテシ ぬくもああああああああああ

やう水の免のけしと原公君 ぬくもああああああああああ

ノ此夜ニハジメオハシニシタリシ ぬくもああああああああああ

モあセキイシテスニキ陰ニ ぬくもああああああああああ

ゆルト人ノヤセニヨリテケシ ぬくもああああああああああ

バ又ハ度オハシニシタルモ此ヤ ぬくもああああああああああ

リ水ノ面目トイヘンナリ ぬくもああああああああああ

人希なりきまふは二説ト ぬくもああああああああああ

アル方ハヒガコトシ ぬくもああああああああああ

てうらとけしああああああああああ

なるしおけしあつたあぶよあどく

ぬやうとあひ出まてぬあはあぬどあ

ーしとあをそしとあつりさもあめ

うはならぬあどあひくことなりまうりあ

皆あはあけのああああああああああ

ぬくもああああああああああ

ぬくもああああああああああ

ぬくもああああああああああ

ぬくもああああああああああ

ぬくもああああああああああ

ぬくもああああああああああ

ぬくもああああああああああ

ぬくもああああああああああ

ぬくもああああああああああ

ぬくもああああああああああ

ぬくもああああああああああ

ぬくもああああああああああ

ぬくもああああああああああ

ぬくもああああああああああ

ぬくもああああああああああ

ぬくもああああああああああ

ぬくもああああああああああ

ぬくもああああああああああ

ぬくもああああああああああ

ぬくもああああああああああ

ぬくもああああああああああ

ぬくもああああああああああ

ぬくもああああああああああ

源君ノ御意ニ叶ヒタルハ造

水層

此君ニテ空輝ノ元ハ告タル也

空輝ノ身ヲ卑下ニシテ我カク人ナキサシ見セシハアナキナキト也

とてわかくても女思ヒトリスル心持
傍ヤリヨクモ悪シクモ一度伴与介
妻トナリテイカナルヲモウツハウツ
スミレトナリ

ぬも〜解す〜減りカナハ

ザンヨシナリ 不用不要トドノ
字ヲ由ニテモ字ヲ意ヲ解シタ
ハ皆カナハズ不豫トカシタハ
殊ニワカシ

さびりよ 佐ニイフ意アラズカハニカシ
ナダト同訓ニナリノ意ヲおもは河シ

かばあ〜ぬま〜上ノハ交領

ノ書ト定メシム賤キ名ノ少
サニシバ人心始終カクク如シトナ
文ニオノオオエヲイトツキナカ
ベクオモヒバシイトカクお定

ナドアン意ナリ 江トモニタ
ヨスガ定ニリタル身ナレバト
イハルハカナハズ下ノハアンニモア
ラレス思ヒキユンヨシニサテ四タモ
キユンモ帯木ノ縁ノ言ヒ

トシタマフ〜不貞ニオボス
アギキナリト云ハカハハズ
人あや〜と名付〜らん〜給
空輝ノワフルヤウナシト給フナト有ハ
源氏ノワカツカニ給フニハアシト人目
ツ思ヒヤリテワヒタヌワナル

こづら〜と〜も〜く〜ても今ハ〜わ〜ひ〜たの〜

す〜と〜あ〜き〜れ〜バ〜む〜あ〜ん〜よ〜ろ〜ろ〜つ〜き〜あ〜く
て〜あ〜み〜あ〜ん〜と〜あ〜ひ〜た〜と〜さ〜り〜あ〜ん〜ハ〜い〜く〜

〜さ〜ら〜ら〜あ〜ん〜と〜ま〜さ〜お〜さ〜な〜た〜を〜う〜
あ〜め〜と〜結〜あ〜あ〜る〜よ〜あ〜ら〜あ〜あ〜あ〜あ〜
と〜さ〜さ〜あ〜れ〜バ〜あ〜さ〜ま〜く〜め〜づ〜り〜あ〜り

〜る〜心〜の〜母〜を〜さ〜ま〜も〜さ〜ま〜づ〜り〜く〜て〜そ
あ〜り〜ぬ〜れ〜ら〜ら〜ら〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜

〜と〜さ〜ら〜ら〜ら〜の〜色〜の〜落〜ど〜ら〜ら〜
〜と〜さ〜ら〜ら〜ら〜

〜と〜さ〜ら〜ら〜ら〜
〜と〜さ〜ら〜ら〜ら〜

〜と〜さ〜ら〜ら〜ら〜
〜と〜さ〜ら〜ら〜ら〜

〜と〜さ〜ら〜ら〜ら〜
〜と〜さ〜ら〜ら〜ら〜

〜と〜さ〜ら〜ら〜ら〜
〜と〜さ〜ら〜ら〜ら〜

〜と〜さ〜ら〜ら〜ら〜
〜と〜さ〜ら〜ら〜ら〜

〜と〜さ〜ら〜ら〜ら〜
〜と〜さ〜ら〜ら〜ら〜

〜と〜さ〜ら〜ら〜ら〜
〜と〜さ〜ら〜ら〜ら〜

〜と〜さ〜ら〜ら〜ら〜
〜と〜さ〜ら〜ら〜ら〜

カ、こがよと夜中祈、其公祈
トシテ人たモア、マツトヒテ
シバサル所へ入在、エハア、リカ
フシタキヨシヤ、セルニテ、所ノ
サ、ノ原氏君へ、忍し、ぬ、旅
道ノ、説中、ノ、ワ、ヒ、シ

おが、い、ま、ま、く、く、れ、ん、あ、い、ぶ、お、る
不、お、ろ、い、け、あ、あ、い、お、む、り、け、り
さ、こ、め、れ、る、人、あ、ま、い、ゆ、め、れ、た、り、い、こ
げ、あ、い、お、い、と、お、い、と、お、い、と、い、あ、い、こ、い、
み、あ、ま、い、そ、と、あ、あ、て、お、ろ、い、こ、い、に、あ、ま、い、
り、い、こ、い、あ、り、い、き、あ、あ、い、さ、あ、ま、い、を、い、
く、め、い、こ、い、と、お、い、ひ、い、これ、は、つ、ま、あ、ま、い、い、
を、中、い、あ、ま、い、い、お、い、さ、い、を、い、

お、お、せ、る、と、を、お、流、と、を、ト、ハ、業、式、社、君、カ、キ、コ、ト、ラ、ニ、ラ、セ、シ、ノ、タ、メ、シ、ト、ア、ん、ハ、女、ガ、ヘ、リ、ニ、ラ
セ、シ、ハ、ア、ラ、ズ、タ、バ、コ、ト、サ、ラ、ニ、オ、オ、メ、キ、タ、ル、詞、ニ、テ、カ、ヤ、ウ、ニ、語、リ、傳、へ、タ、リ、ト、昔、物、語
ニ、テ、タ、ル、詞、ニ

席へ小提、ムツカ
シケニ
ユト申

ちびりまりぬあり 細流源
 氏君ノ訶ナリトアルハカガリ
 地ノ訶ナリイリテイトイフヨ
 源氏君ノ訶

さうーサヤウツカシシカウニハ木
 下ノテ佑んトヤセルコトハ
 サモアラントトイトイハル意タ
 ガヘリ

しあはれぬあつらふらふとつらむあはれん
 うらなよめさそひらくわがうらひさひあど
 とすまのりつらさむハいづよあをまはる
 らんよのふらふらふらふらふらふらふら
 あつらひぬわらひつらふらふらふらふら
 へばよもらふらふらふらふらふらふら
 くまのふらふらふらふらふらふらふら
 へびくひらふらふらふらふらふらふら
 かりかりふらふらふらふらふらふら
 ろうふらふらふらふらふらふらふら
 きはふらふらふらふらふらふらふら
 ゆらふらふらふらふらふらふらふら

多々みひらふらふらふらふら
 カタハラスタハミヨセテハス所ヲ意
 クスルナリ又ヒロゲテハ風吹ト
 オスベキ道ヲ意クフル意ニテ
 毛有ベシ タハミヨセタル屏風
 ヲ大ノアキカガリ引ヒロゲタル
 七梯ハセハテウ見ルニ

はあをきつらふらふらふらふら
 しのあをきつらふらふらふらふら
 へびくひらふらふらふらふらふら
 とすまのりつらさむハいづよあをまはる
 らんよのふらふらふらふらふらふら
 あつらひぬわらひつらふらふらふら
 へばよもらふらふらふらふらふら
 くまのふらふらふらふらふらふら
 へびくひらふらふらふらふらふら
 かりかりふらふらふらふらふら
 ろうふらふらふらふらふらふら
 きはふらふらふらふらふらふら
 ゆらふらふらふらふらふらふら

夏はやうりぬるあつさを此をモ
 正下ニウケタル詞ナクテイカバ
 のトアムベキ詔ナルヲヤ

夏はやうりぬるあつさを此をモ
 正下ニウケタル詞ナクテイカバ
 のトアムベキ詔ナルヲヤ
 夏はやうりぬるあつさを此をモ
 正下ニウケタル詞ナクテイカバ
 のトアムベキ詔ナルヲヤ

下ノ次退ノ字ハサラテタラズト
 ガコトシハハセセテミダシキク此
 ミミロキナムニシラトモハコト誤リカ

夏はやうりぬるあつさを此をモ
 正下ニウケタル詞ナクテイカバ
 のトアムベキ詔ナルヲヤ
 夏はやうりぬるあつさを此をモ
 正下ニウケタル詞ナクテイカバ
 のトアムベキ詔ナルヲヤ

けしはあゝなにかのき
ワロクハアヌヌケダナカサト
背長ノ高キヲタハフシナイ
へん言ハ傍注ヒガコト

そよそよの物しなありやうはあゝ
あゝこれけさう船のりやけさ人
きまわゝもさうさうりおいら
とつゆてありさげとあひていま
さうさうびもひるんとやれも
よさうさうびもきれえとさ
へぞわさうのらうさうひてくれ

くちやさうひめひつゝ或はら
ウトハ主人ノオハニス所ラサ
イフコトヘンヨロシ傍注妻女
ヲアガタナイフコトヘンガ
コハ妻女ヲイフトハコト次
文ニシモ侍リツルトイヘン下
對テ心得シ下ハ能登

まよひのうらみさうさうさう
むさうさうさうさうさうさう
やうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさう
山車のもりまて二条院まあり
さうさうのまておれうらさう
まひてあゝのさうさうさう
さうさうさうさうさうさう
あうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさう



Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or a name, located at the top of the page.

Handwritten text, possibly a name or a title, located below the signature.

Handwritten text, possibly a date or a reference, located below the previous line.

Handwritten text, possibly a name or a title, located below the previous line.

Handwritten text, possibly a name or a title, located below the previous line.

Handwritten text, possibly a name or a title, located below the previous line.

Handwritten text, possibly a name or a title, located below the previous line.

Handwritten text, possibly a name or a title, located at the bottom of the page.

